

横浜市Y-PORT事業

～ 公民連携による海外インフラビジネスの推進について ～

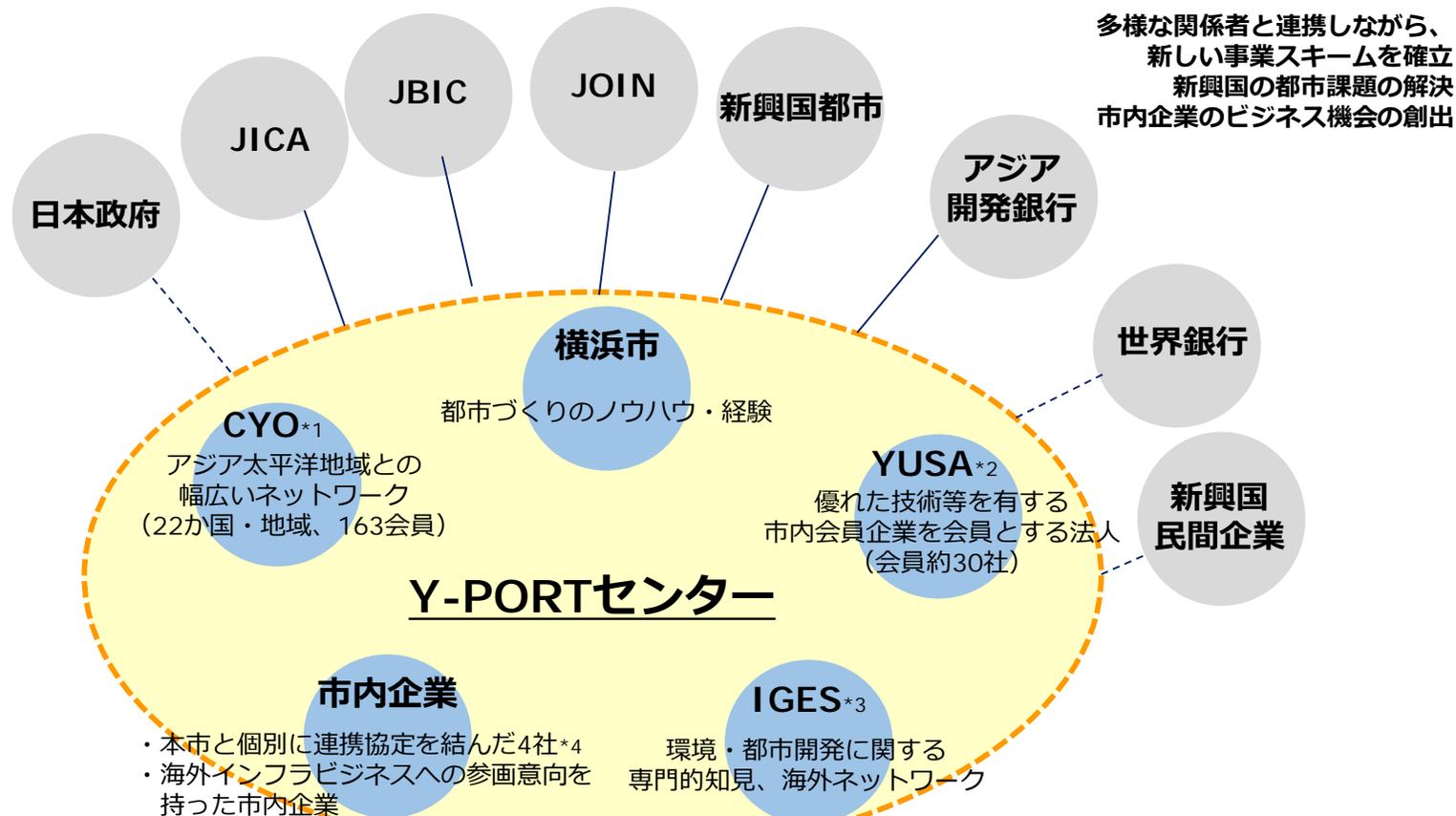
横浜市国際協力課

本日の発表内容

内 容	ページ番号
Y-PORT事業の概要	3～7
今年度の活動	8
アジアスマートシティ会議(ASCC)の開催	9
都市間連携(ダナン市、バンコク都)	10,11
Y-PORTセンター公民連携オフィスGALERIOの紹介	12
今後のビジネスマッチング	13
ウクライナへの戦後復興	14

1 Y-PORT事業の実施体制

- 公民連携によるインフラビジネス推進のためのプラットフォームとして2015年に発足
- 連携拠点として「公民連携オフィス」を2017年に開設（国際協力課職員と一社YUSA事務局が常駐）
- 政府機関、国際機関、市内企業等との連携協定による協力体制を構築。



横浜市国際局
国際協力課

YUSA
(一社) YOKOHAMA
URBAN SOLUTION
ALLIANCE

Y-PORTセンター公民連携オフィス
2017年7月開設
(横浜国際協力センター 6階)

* 1 CYO: シティネット横浜プロジェクトオフィス * 2 YUSA: (一社)YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE
 * 3 IGES: (公財)地球環境戦略研究機関 * 4社: 日揮グローバル(株)、JFEエンジニアリング(株)、千代田化工建設(株)、(株)日立製作所

2 今年度のY-PORT事業の主な活動エリア

- 都市間協力を土台とした海外3都市に加えて、国際機関との連携による島嶼国、複合開発・スマートシティ開発等の協力要請が寄せられているエリアでの活動を推進予定。

「持続可能な都市の発展に向けた技術協力に関する覚書」を締結した都市

バンコク



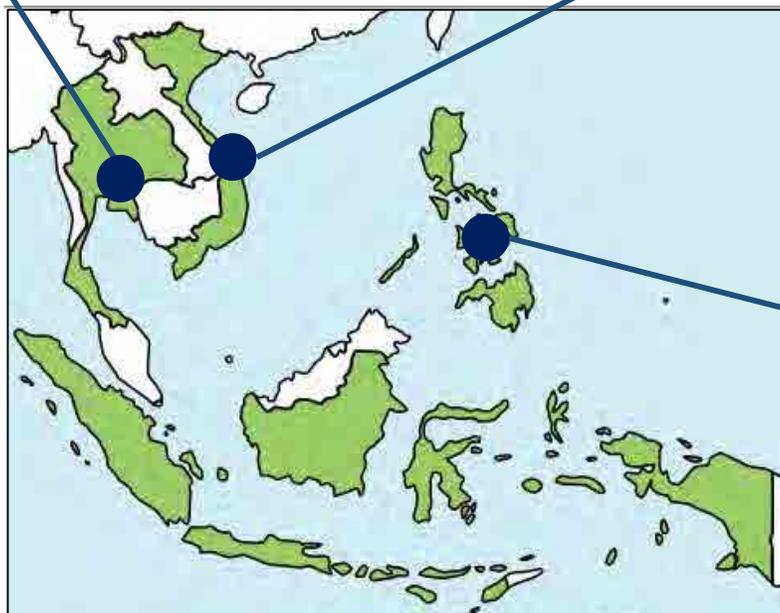
- ▶ バンコク都気候変動マスタープラン
- ▶ 工場屋上を利用した太陽光発電・エネルギーマネジメントシステム導入



- ▶ バンコク都庁に本市職員をJICA専門家として派遣

ダナン

- ▶ ダナン都市開発アクションプラン
- ▶ ホテル・工場等の省エネ診断サービス
- ▶ ダナン市水道公社への高効率ポンプ導入



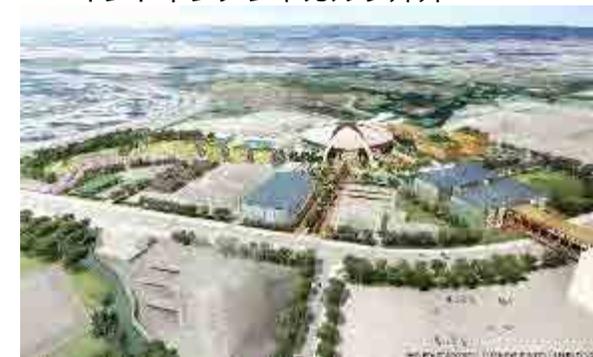
セブ



- ▶ メガセブロードマップ2050
- ▶ 廃プラスチックリサイクル
- ▶ 腐敗層汚泥の高効率処置

(一社)YUSAとの連携によるスマートシティ事業

- ・タイ国東部経済開発地域(EEC) チョンブリ
- ・ベトナム クアンニン省 (ハロン等)
- ・ラオス北部
- ・インドネシアジャカルタ郊外



スバ (フィジー)

ADB等との連携(再生可能エネルギー、廃棄物、防災等)



3 事業形成の流れと本市支援内容

● 都市間協力を土台として、海外都市などの上流計画の策定支援段階から、具体事業の企画支援、事業化支援まで一貫した取り組みを進めています。

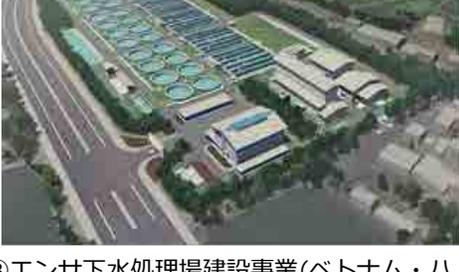


市内企業等との連携
Y-PORTセンターの主な支援

相談・提案	案件発掘段階 (ビジネスマッチング)	事業企画段階	調査段階	事業化段階
<ul style="list-style-type: none"> ● Y-PORTフロントからの相談受付 ● 海外都市、国際機関等とのネットワークワーキング支援 ● JICAとの連携調査結果の共有等 	<ul style="list-style-type: none"> ● アジア・スマートシティ会議 ● 海外都市への現地合同調査・海外都市開発フォーラム（開催案内、結果概要はメーリングリスト、ニュースレター参照） ● Y-PORTワークショップ ● オンラインでのマッチング機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本市知見やネットワークの提供 ● パッケージ型都市ソリューションの共同検討 ● ソリューションマップへの掲載等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査推進支援 ● カウンターパート都市等を対象にした本市施策等への視察及び研修実施の協力等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業推進支援 ● 事業概要の広報（当局WEBサイトへの掲載や海外での双方の広報）等 

4 市内企業等による事業化実績

2022年3月末時点

<p>環境省「途上国向け低炭素技術イノベーション創出事業」</p>  <p>① 廃プラスチックのリサイクル事業(フィリピン・メトロセブ) (株)グリーン(金沢区)</p>	<p>JCM設備補助事業</p>  <p>② 水道公社への高効率ポンプの導入(ベトナム・ダナン) 横浜ウォーター(株)(中区)</p>	 <p>③ 下水処理場への汚泥脱水装置の納入(フィリピン・バギオ) アムコン(株)(港北区)</p>
<p>JCM設備補助事業</p>  <p>④ 工場への屋根置き太陽光発電及び先進的エネルギーマネジメントシステムによる電力供給(タイ・バンコク) (株)ファインテック(緑区)</p>	 <p>⑤ 上下水道公社への漏水検知研修事業(インド・バンガロール) 水道テクニカルサービス(株)(旭区)</p>	<p>YUSA</p>  <p>⑥ 工業団地のスマートシティ化支援コンサルティング業務(タイ・チョンブリ、アマタ社) (一社)YUSA(西区)</p>
<p>YUSA</p>  <p>⑦ スマート工業団地開発計画支援コンサルティング事業(タイ・チャチューンサオ、シティ社) (一社)YUSA(西区)</p>	<p>大企業</p>  <p>⑧ エンサ下水処理場建設事業(ベトナム・ハノイ) JFEエンジニアリング(株)(鶴見区)</p>	<p>中小企業</p>  <p>⑨ ホテルへの水道管改善装置の納入(モンゴル・ザミンワード) 都市拡業(株)(南区)</p>

● これまでの市内企業による調査・実証事業支援は78件(R4 5件)、事業化支援の実績は21件(R4 2件)の実績があります。(R4.12現在)



中小企業

9 資源の有効な利用の確保
13 気候変動に具体的な対策を
17 持続可能な消費と生産の実現

⑩民間工場等への省エネ・ワンストップパスサービス業務(ベトナム・ダナン)(株)オオスミ(瀬谷区)



YUSA

9 資源の有効な利用の確保
7 気候変動に具体的な対策を
11 持続可能な都市と地域づくり
17 持続可能な消費と生産の実現

⑪タイ、ラオス、ミャンマーにおけるスマートシティ開発支援コンサルティング業務(タイ、ラオス、ミャンマー・アマタ社)(一社)YUSA(西区)



YUSA

9 資源の有効な利用の確保
7 気候変動に具体的な対策を
11 持続可能な都市と地域づくり
17 持続可能な消費と生産の実現

⑫ベトナムにおけるスマートシティ開発支援コンサルティング業務(ベトナム・クアンニン、アマタ社)(一社)YUSA(中区)



中小企業

6 資源の循環
17 持続可能な消費と生産の実現

⑬水道管漏水検知機器の納入(ベトナム・ホーチミン市等)水道テクニカルサービス(株)(旭区)



中小企業

6 資源の循環
17 持続可能な消費と生産の実現

⑭および⑯民間工場等への汚泥脱水装置の納入(フィリピン・メトロセブ等) アムコン(株)(港北区)

JCM設備補助事業



中小企業

6 資源の循環
13 気候変動に具体的な対策を
17 持続可能な消費と生産の実現

⑮インバーター導入による取水ポンプの省エネルギー化(ベトナム・ホーチミン)横浜ウォーター(株)(中区)



YUSA

9 資源の有効な利用の確保
7 気候変動に具体的な対策を
11 持続可能な都市と地域づくり
17 持続可能な消費と生産の実現

⑯タイ、ラオス、ミャンマー、ベトナムにおけるスマートシティ開発支援コンサルティング業務(タイ、ラオス、ミャンマー、ベトナム・アマタ社)(一社)YUSA(西区)



YUSA

9 資源の有効な利用の確保
7 気候変動に具体的な対策を
11 持続可能な都市と地域づくり
17 持続可能な消費と生産の実現

⑰ベトナムにおけるスマート工業団地コンセプトマスタープラン策定支援コンサルティング業務(ベトナム・モンカイ、アマタ社)(一社)YUSA(西区)



中小企業

12 持続可能な消費と生産の実現
13 気候変動に具体的な対策を
17 持続可能な消費と生産の実現
6 資源の循環

⑲新型コロナウイルスの大規模ワクチン接種会場への滅菌装置(オートクレーブ)の納入(フィリピン・マンダウ工市)(株)グリーン(金沢区)

5 今年度の活動

- 企業の皆様との連携活動として以下の活動を実施しています。

事業名	対象国	開催地	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Y-PORTワークショップ	-	横浜(ハイブリッド)	▼8/8 【JICA中小企業・SDGsビジネス支援事業】		▼10/28 【NEDO国際実証事業】		▼12/21 【都市間連携事業】		▼2/21 【公民連携の取組と国際ビジネスの推進】	
アジア・スマートシティ会議	フィリピン、タイ、インドネシア、マレーシア	横浜(オンライン)				アジア・スマートシティ会議11/24-25▼ ビジネスマッチング交流会11/24▼	▼商談会			
都市間協力	ダナン	横浜(オンライン・ハイブリッド)			▼10/18 環境省都市間連携事業(ビジネスマッチング交流会)		▼12/14ビジネスマッチング交流会		▼環境省都市間連携事業(ビジネスマッチング交流会) ▼ビジネスマッチング交流会	▼ビジネスマッチング個別商談会
	セブ	セブ(対面)							▼ビジネスマッチング個別商談会	
	バンコク	横浜(オンライン)	▼8/30 環境省都市間連携事業(事業説明会)			▼11/29 環境省都市間連携事業(ビジネスマッチング交流会)				▼3/2環境省都市間連携事業(ビジネスマッチング交流会)
オープンイノベーションセミナー	-	横浜(ハイブリッド)					▼12月中旬			▼3月上旬

6 アジアスマートシティ会議（ASCC）

- 本市主催の国際会議で、平成24（2012）年から毎年開催
- アジア諸国のキーパーソンが一堂に会し、経済成長と良好な都市環境が両立する持続可能な都市づくりの実現に向けた議論を実施
- 日本政府6省庁及びシティネット後援のもと11月にオンライン開催。国内外から730名が参加
- 海外への事業進出の関心が高い横浜市内企業等14社と海外企業16社がビジネスマッチングを実施
- ビジネス化に向け20社が個別商談会を実施中

第11回会議の開催概要

- （1）開催日時：2022（令和4）年11月24日（木）、25日（金）
- （2）メインテーマ：持続可能な成長を実現する公民連携による新たな都市づくり ～脱炭素、SDGs/VLR、スマートシティ～
- （3）企画：Y-PORTセンター公民連携オフィス GALERIO 企画委員会
アジア開発銀行研究所（ADB）、JICA、スマートシティ・インスティテュート、世界銀行東京開発ラーニングセンター
地球環境戦略研究機関（IGES）、YUSA、横浜国立大学、横浜市立大学、横浜市国際局
- （4）後援：内閣府、外務省、財務省、経済産業省、国土交通省、環境省、シティネット

ビジネスマッチング

- ・一般社団法人YUSAが執り行うビジネスマッチング交流会を実施
- ・横浜市内企業等とタイ、フィリピン、インドネシア、マレーシアの海外事業者30社がセールスピッチを実施
- ・開催後は個別商談会も多数行われており、市内企業等のビジネス機会を提供している。



7 ダナン市との都市間連携

- 横浜市は、ベトナムダナン市と2013年に「持続可能な都市の発展に向けた技術協力に関する覚書」を締結しています。
- 横浜市との都市間連携により、ダナン市ハイテクパーク管理委員会から紹介された工業団地入居企業、環境省都市間連携事業で関係を築いたベトナム商工会議所ダナン支部（VCCI）、昨年夏に設立されたYUSA連携事務所（オオスミベトナム）が関係構築した青年会議所（YBAダナン）等の企業グループとYUSA会員企業を中心とした本邦企業グループとのビジネスマッチングが進んでいます。ベトナム側の企業より本邦企業の技術に高い関心が寄せられています。
- ダナン大学との連携も生まれ、産学官の連携した取組も始まろうとしています。

①「環境省都市間連携事業ワークショップ」

開催：2022年10月 オンライン

テーマ：2050年に向けたベトナム国家気候変動戦略に
貢献するための都市の役割

参加者：日本側18人 ベトナム側約20人

②「YUSA-YBAワークショップ（ビジネスマッチング）」

開催：2022年12月 オンライン

テーマ：本邦企業が持つ技術の紹介について

参加者：日本側8人（社） ベトナム側14人（社）



8 バンコク都との都市間連携

- 横浜市は、バンコク都と2013年に「環境に配慮した持続可能な都づくりに関する覚書」を締結しています。
- 昨年7月にバンコク都の脱炭素化に向けた横浜市とバンコク都による都市間連携事業を開始しました。
- バンコク都は、2050年カーボンニュートラルのみならず都庁の事務事業で2026年のカーボンニュートラルを目指しており、都知事の強力なリーダーシップのもと横浜市及び本邦企業とのワークショップに多くのタイ企業が参加しました。

① 「カーボンニュートラル実現に向けたバンコク気候変動とエネルギーアクション・カンファレンス」

開催：2022年8月 バンコク都内での対面+オンライン

テーマ：バンコク都における気候変動対策のあり方の議論

民間企業を含めたステークホルダーとの協力・連携の構築、促進

参加者：来場者 約150名、オンライン 約300名

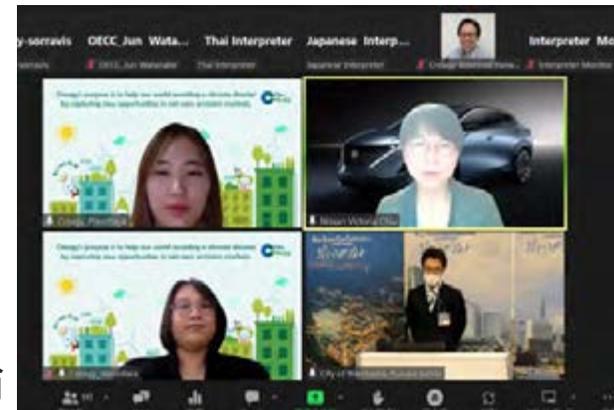


② 「バンコク都気候変動マスタープラン実施能力強化プロジェクト研修」

開催：2022年9月 来日

テーマ：都市における気候変動対策実施促進

参加者：バンコク都環境局長ほか14名、YUSA、日本企業7社、横浜市国際局ほか6局



③ 「横浜市・バンコク都による企業向け脱炭素ワークショップ」

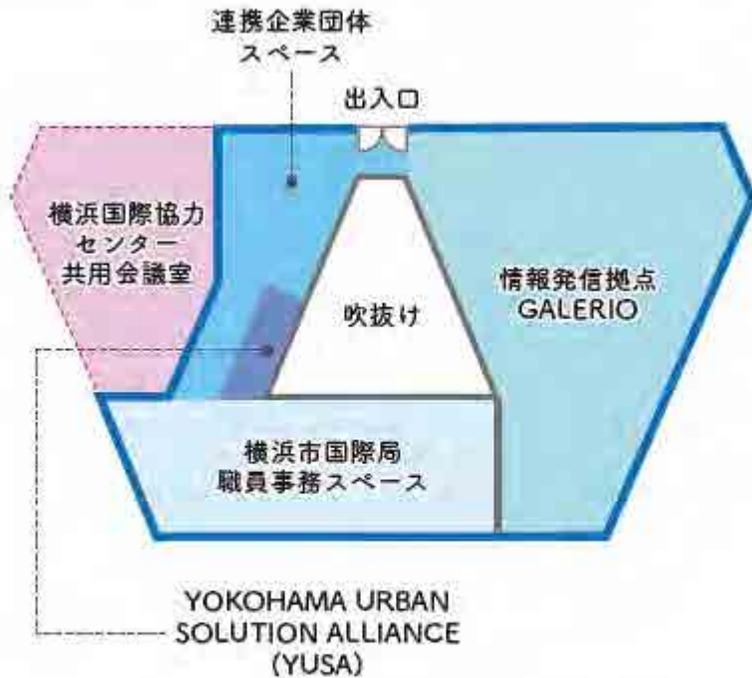
開催：2022年11月 オンライン

テーマ：4つのテーマに関する日・タイ企業、横浜市によるネット・ゼロに向けた取組の共有と議論

参加者：日本企業20社、タイ企業100社以上が参加

9 Y-PORTセンター公民連携オフィスGALERIO

- GALERIO（ガレリオ）は2020年、横浜市都市ソリューションの海外発信を一層加速していくための拠点として、Y-PORT センター公民連携オフィス内に誕生。国内外の関係者との国際会議やワークショップ等を開催
- 市内企業へ現地都市ニーズに関する情報提供。市内企業の技術を新興国都市へ紹介を実施しています。
- 市内企業の海外進出のための相談エリアとして、本市との協議スペース（事業創造ゾーン）を整備しましたので、是非、ご来場ください（ki-yport@city.yokoha.jpにご連絡ください）。



Y-PORT センター公民連携オフィス



会議・セミナー・ワークショップゾーン



事業創造ゾーン

※海外視察の受入
GALERIOを活用して、オンラインや効果的な現地視察の実現のために横断的な連携体制を構築する。
具体の事業を想定した YUSA企業や市内企業とのマッチングを目指す

10 今後のビジネスマッチング

- 2月、3月もワークショップ等の開催を予定しています。
- 詳細は、Y-PORTメーリングリストやホームページでご案内します。

1 ダナン市環境省都市間連携事業「最終ワークショップ」

開催日：2月22日

テーマ：ダナン市への3年間のプロジェクトの成果報告と今後のダナン市の脱炭素化に関する議論

2 バンコク都環境省都市間連携事業「第2回ワークショップ」

開催日：3月2日

テーマ：バンコク都の新気候変動マスタープランの実施状況の共有
日本とタイの脱炭素技術に関する知見の共有と交流
日タイ民間企業間のビジネスマッチング

3 ダナン市都市開発フォーラム

開催日：3月27日～29日（予定）

テーマ：（仮）ダナン市の重点開発分野の共有と横浜市との協力のもと進行中、計画されている事業の紹介やSDGs推進とVLRを活用した今後の都市間連携

11 ウクライナへの戦後復興

- ウクライナでは、道路や橋梁、港湾といった運輸インフラやエネルギー・通信インフラ、上下水道や廃棄物・がれき処理、医療など、多岐にわたる分野で復旧・復興支援が必要と見込まれています。
- JICA等の国際機関やオデーサ市と連携して現地ニーズを的確に把握することにより、JICA等による復旧・復興支援の計画策定等へ助言・提案を行い、公民連携で現地の復旧・復興に貢献します。



オデーサ市にお届けした浄水装置の活用状況



ロシアの攻撃により建物が破壊された様子



がれき、廃棄物の処理に関する支援ニーズがある

【ご案内】 Y-PORT事業ウェブサイト



- Y-PORTメーリングリストには是非ご登録ください。
ビジネスマッチングやイベント情報を随時メールでご案内しています。



トップページ下段の登録ボタンから
メーリングリストにご登録ください

URL <https://yport.city.yokohama.lg.jp>



YUSAについて

一般社団法人 YOKOHAMA URBAN
SOLUTION ALLIANCE
事務局 保延 勇太

2023年2月21日

YUSA設立の背景

新興国等では、経済成長に伴う人口増加と都市化により、ごみ問題や排水処理、交通渋滞等、様々な問題が表面化している。また地球温暖化に伴う激甚災害の被害を受けている。



横浜市もまた、戦後の経済成長により同様の課題に直面し、それを解決することで今の都市を創り上げてきた。横浜市のまちづくりの知見を、新興国等の都市課題の解決につなげられるのではないか。⇒**横浜市Y-PORT事業の創出**



YUSAの概要

- 横浜市内の中小企業が中心となって設立した法人
- 市内企業の海外ビジネスの機会の拡大と、新興国の都市課題解決に貢献することが目的

2017

設立



横浜市と連携協定締結

33

会員企業数

YUSA Member Companies



City of Yokohama



Cooperation Agreement between YUSA and City of Yokohama, 2017

YUSA 事業の3つの柱

① 調査事業

日本政府や国際機関等から、海外インフラビジネスに関する調査等を受託

② 案件形成 支援事業

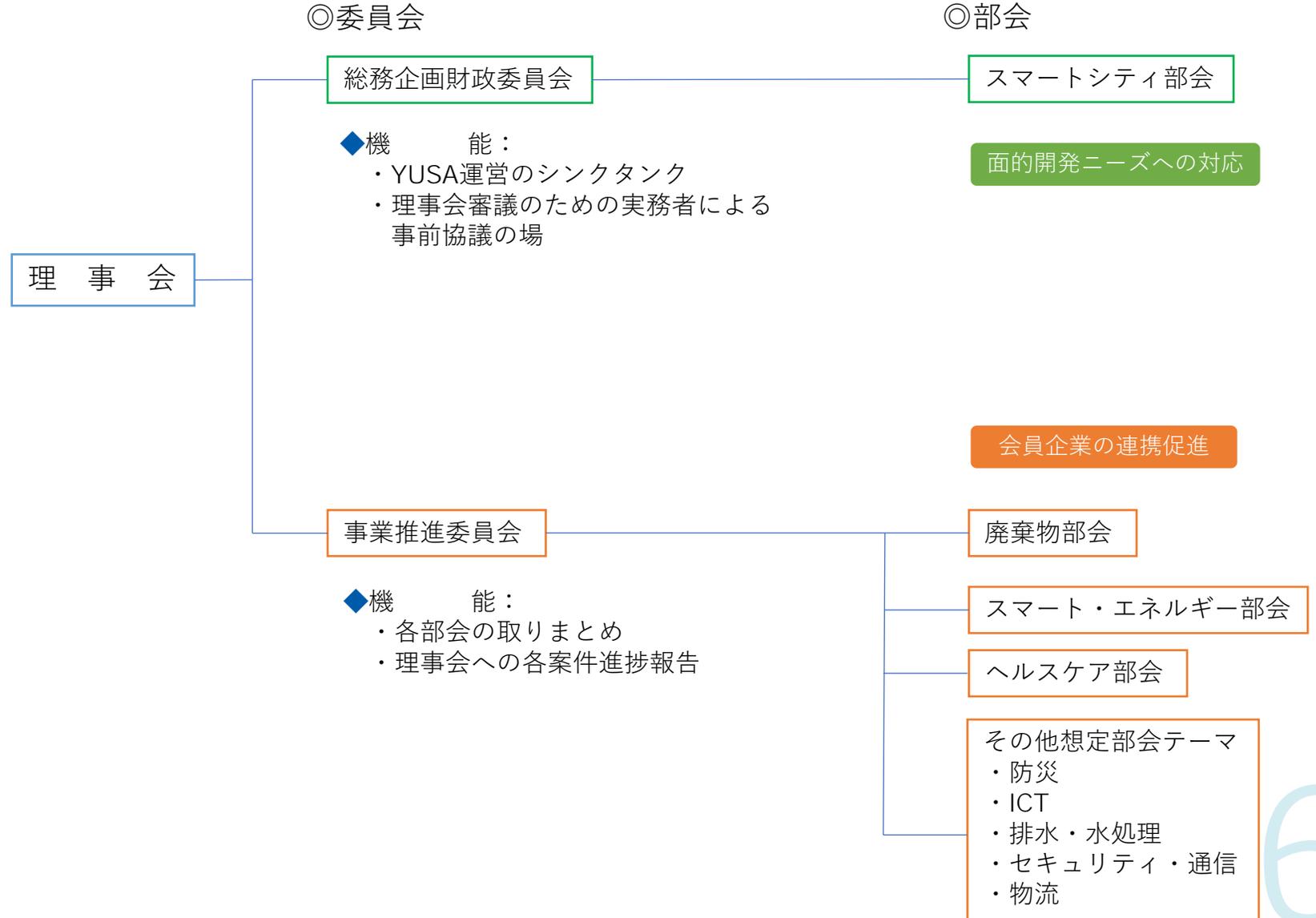
会員企業に対し、案件形成のための海外現地情報の提供や支援制度の案内、ビジネスパートナーの紹介等を実施

③ プロモーション事業

会員企業の技術やサービスをウェブや国際会議等で情報発信

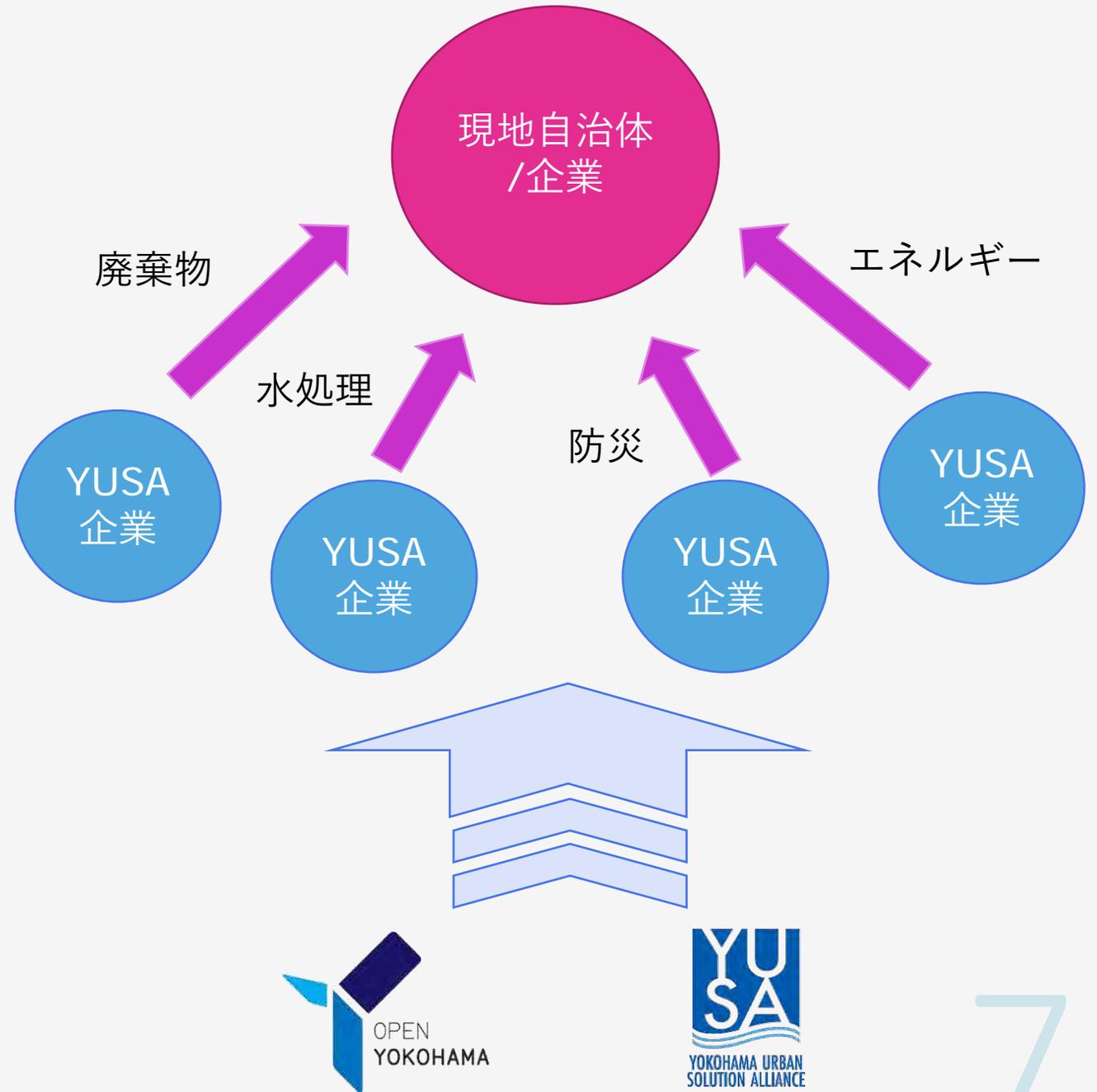


YUSAの活動を推進するために委員会・部会が設置されています。



YUSAの 機能①

個別企業の技術・サービスを海外
自治体や企業に売り込むための
後方支援





Da Nang Vietnam



環境省：浄水場高効率ポンプ導入
JICA：省エネ診断サービス

都市間連携事業に
おける連携事例

Bangkok Thailand



JICA：気候変動マスタープラン



Cebu Philippines



JICA：メガセブロードマップ2050、
汚泥の高効率処理技術導入
環境省：廃プラスチック燃料化

Batam Indonesia

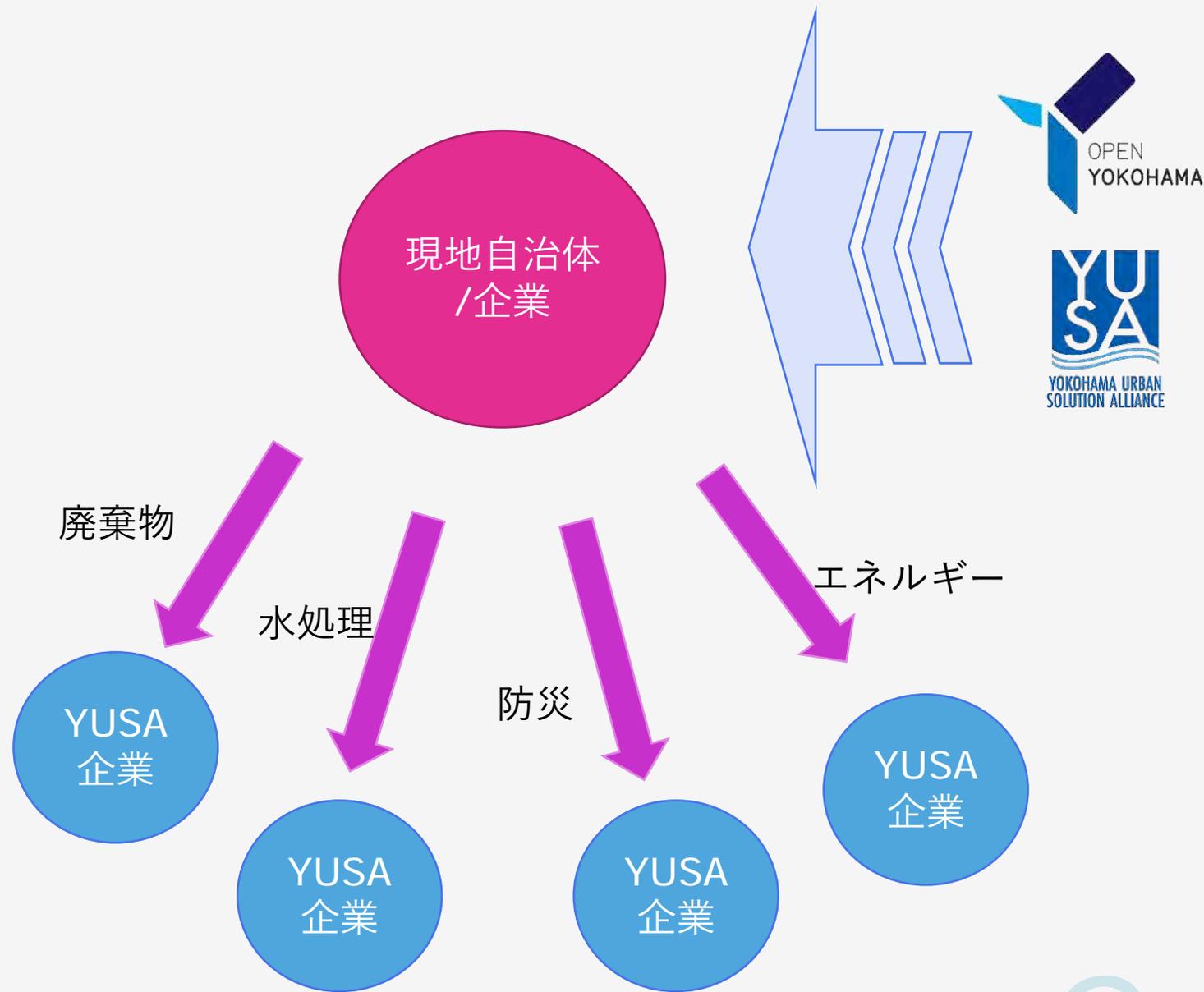


環境省：JCM事業の形成



YUSAの 機能②

都市開発のコンセプト、マスタープラン（MP）策定等、面的開発の上流部に対してアドバイザーを行い、会員企業の受注へつなぐ



YUSA活動の背景 経済成長著しい東南アジア

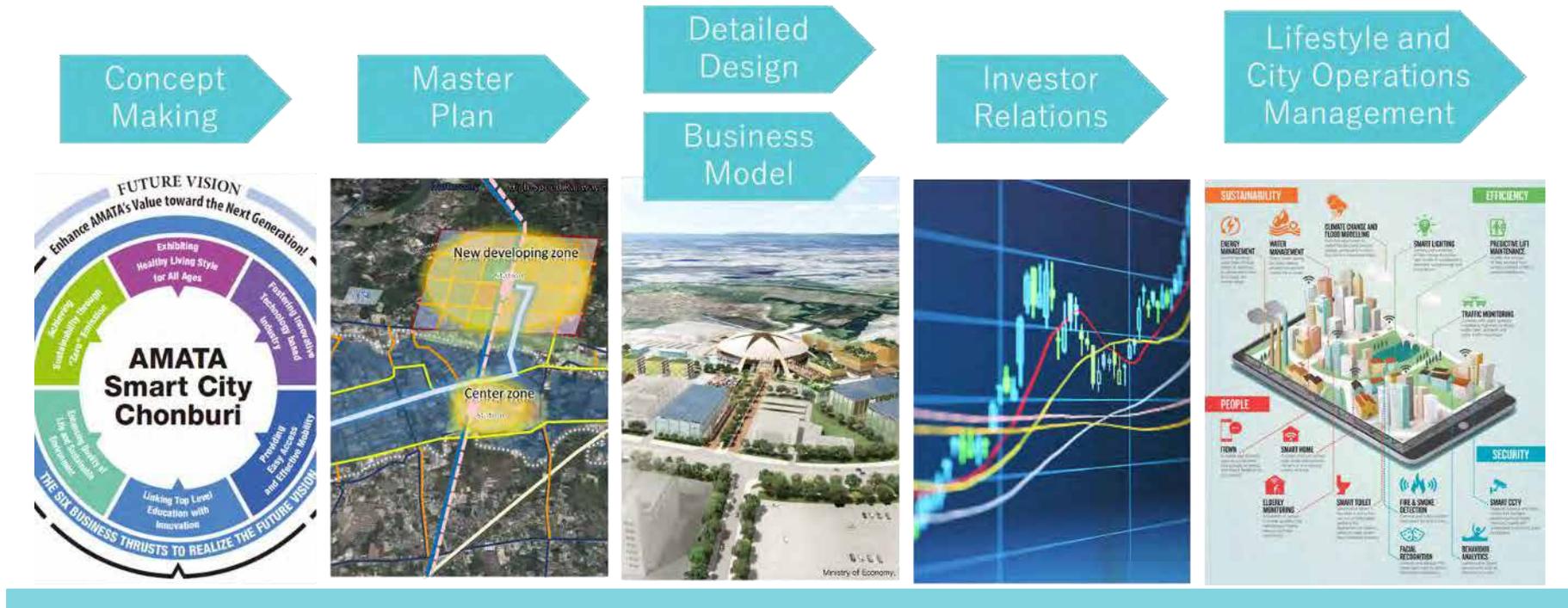
- 大手民間企業が現地自治体に代わって都市開発を進めている
- これら民間企業は中央政府とのつながりも強く、単なる民間の企業とは言い難い
- 数千haの土地を入手し、自社で道路、水道、電気、学校、警察、消防等の都市インフラを整備する企業もいる
- しかし自治体ではないため、原則的に都市計画・都市経営のノウハウは有していない

独自のノウハウで各企業都市開発を展開





Mission Statement:
“Urban Development Management Integrator”



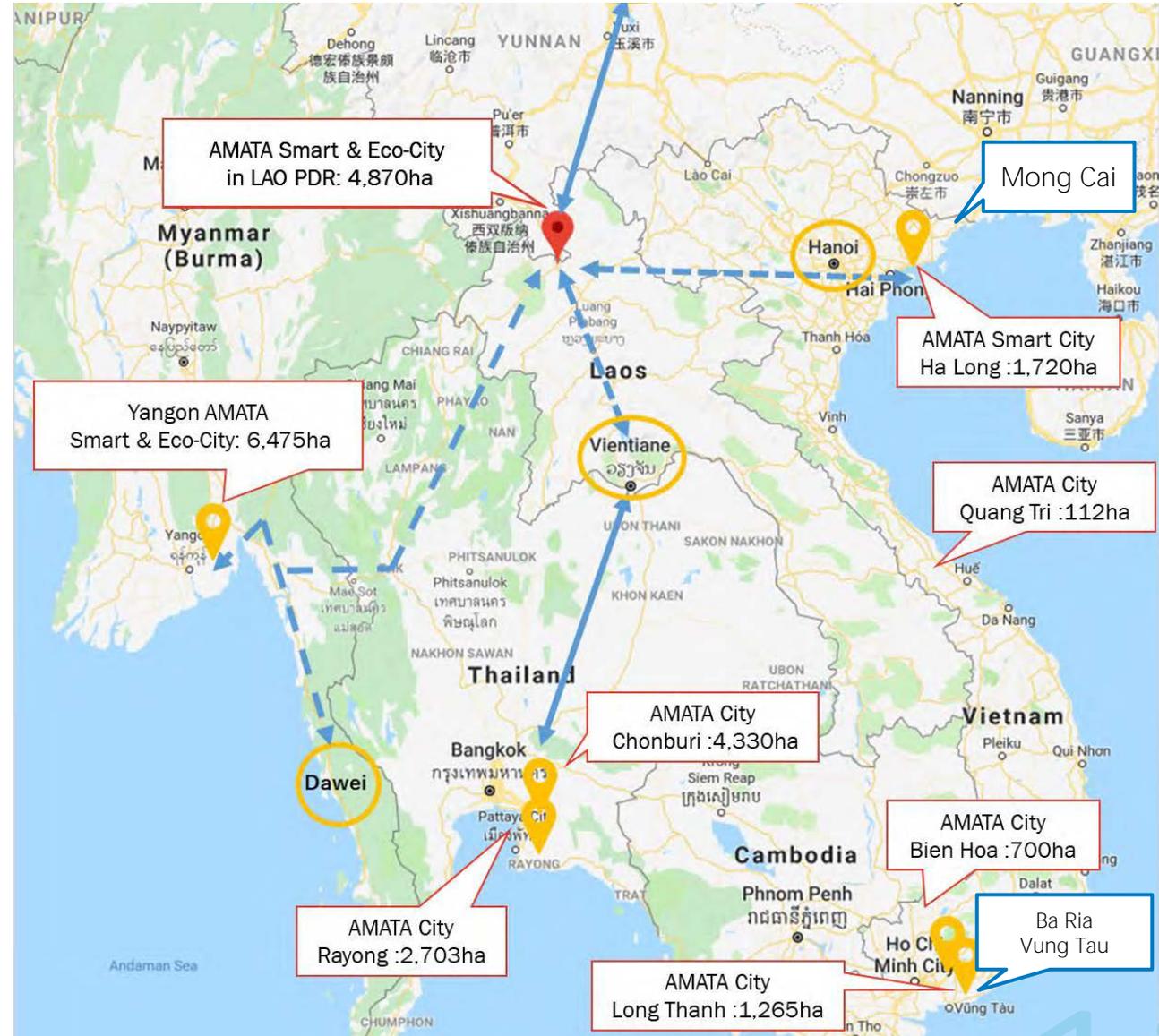
- High Quality Lifestyle
- Well-being of Citizens
- Circular Economy
- Sharing Economy

AMATA社の概要

タイ王国を代表する不動産デベロッパーとして、国内外で数多くの工業団地を開発・運営しています。またYUSAとの関係も深く、日系企業との協業に非常に前向きです。



- 1989年創業
- チョンブリ、ラヨン、ビエンホアなどで工業団地の開発を手掛ける
- 世界を代表する企業を含め、約1,400のテナントが開発エリアに入居
- AMATA Cityビエンホアでは、約50,000人の従業員を抱える
- YUSAは2018年以来、各種案件におけるマスタープランニングや戦略策定でAMATAに対してサービスを提供



AMATA-YUSAの連携実績

YUSAは過去5年間に於いてAMATA社に対する支援を行っており、タイ・ベトナム・ミャンマー・ラオスなどにおける都市開発のマスタープラン策定やスマートシティ戦略策定を支援しています。

案件名	期間	内容
AMATA Corp.支援 第1フェーズ	2018年1月～10月	タイ・チョンブリ工業団地 スマートシティ化戦略的方向性策定
METI質高2018年	2018年8月～2019年2月	ゲートウェイエリア開発FS調査
AMATA Corp.支援 第2フェーズ	2019年3月～10月	ラオス・ミャンマー工業団地の SC開発方向性検討
METI質高2019年	2019年8月～2020年2月	WTE、Recycling FS調査
AMATA Vietnam支援	2019年9月～2020年2月	ベトナム2工業団地SC開発方向性検討
AMATA Corp.支援 第3フェーズ	2020年3月～2022年3月	チョンブリ：Medi Town、Smart Grid ラオス：Food City他 アマタ案件への横断的アプローチ
METI質高 2020年	2020年11月～2021年3月	チョンブリ：MP作成 ハロン：送配電事業提案 ラオス：農業・物流提案
METI質高 2021年	2021年10月～2022年2月	CMaaSビジネスモデル調査 (補助金)
モンカイ案件 マスタープランニング支援	2021年8月～2022年3月	マスタープラン策定 スマートシティ化支援

AMATA社の希望として日系投資家をチョンブリ開発に誘致したいとの意向あり。YUSAは正式なエージェントとして、日系投資家誘致を実施。

METI質高：質の高いインフラの海外展開に向けた事業実施可能性調査事業

企業のさらなる海外ビジネス展開へ(2022)

YUSA連携事務所の開設 —会員企業との連携—

- 現地での情報収集、営業活動等の重要性がこれまで以上に高まっている。
- YUSAには、現地に根を下ろして活動している会員企業があり、これら会員と連携して、他の会員企業のビジネス展開支援を実施
- 現地コーディネーター、営業活動支援、調査スキーム提案支援等のメニューを想定
- YUSA横浜から、会員企業の相談を各連携事務所につなぐ。



今年度の取組

ベトナム・ダナン連携事務所との協働による ビジネスマッチング

■横浜市とダナン市の都市間連携事業「ダナン市脱炭素社会形成支援事業（2020-2022）」の一環として実施

- 横浜市企業情報（セールスピッチ）を日本語及びベトナム語で作成
- 横浜企業ソリューションリストを日本語及びベトナム語で作成
- ベトナム商工会議所(VCCI)ダナン支部とのビジネスマッチングを開催予定

IGES
Institute for Global
Environmental Strategies

YU SA YOKOHAMA URBAN
SOLUTION ALLIANCE



低炭素技術の導入を検討
されているダナン市の企業様へ
—低炭素技術情報資料—

2022年10月



オオスミベトナム



推進している業務

1. 製造工場や商業施設での省エネや作業環境改善業務。
方法：モニタリング-診断-対策提案と実施-効果の検証と見える化。
効果：エネルギー使用量を削減しコスト削減とCO₂排出量を削減。
工場内の埃、換気、臭気等の対策で作業環境を改善し生産性の向上と従業員の健康を守る。
2. ODA事業の推進。日本政府の支援制度のご紹介。
効果：投資コストの削減、事業収益の向上。
3. ビジネスマッチング事業。御社のニーズに沿った日本のビジネスパートナーをご紹介します。
効果：新規ソリューションの展開で事業を拡大。

主な事業

- 日本政府が推進するJCM設備補助制度を活用した屋根置き太陽光発電設備の導入を展開中。
- ODA車の根事業。ソンチャク地区の一般住宅、ホテル、商業ビルを対象に省エネ対策を実践。
- YUSAメンバー企業のソリューションを紹介、支援。
- MURATA Vietnam様への省エネ、作環境改善事業。



住所: SOHO Bldg 2, 23/10 Ly Tu Trong, Thach Thang Ward, Hai Chau District, Da Nang
連絡先:
Mr. Yoneda yoneda@o-smi.co.jp Tel: 0385.113.506
Mr. Nguyen Quyet Thang thang@o-smi.co.jp Tel: 0935.286.622
URL: <https://www.o-smi.co.jp/>

今年度の取組 ダナン青年会議所(YBA)とのビジネス マッチング

- 2022年12月14日（水） 10:00-12:30
- YBA会議室及びオンラインのハイブリッド形式
- 企業7社がプレゼンテーションを実施
- 2回目を2023年2月24日（金）開催予定



アジアスマートシティ会議 ビジネスマッチング交流会・オンライン個別商談会

■ ビジネスマッチング交流会

2022年11月24日（木）14:40～17:15

35社参加（5社はオブザーバー参加）

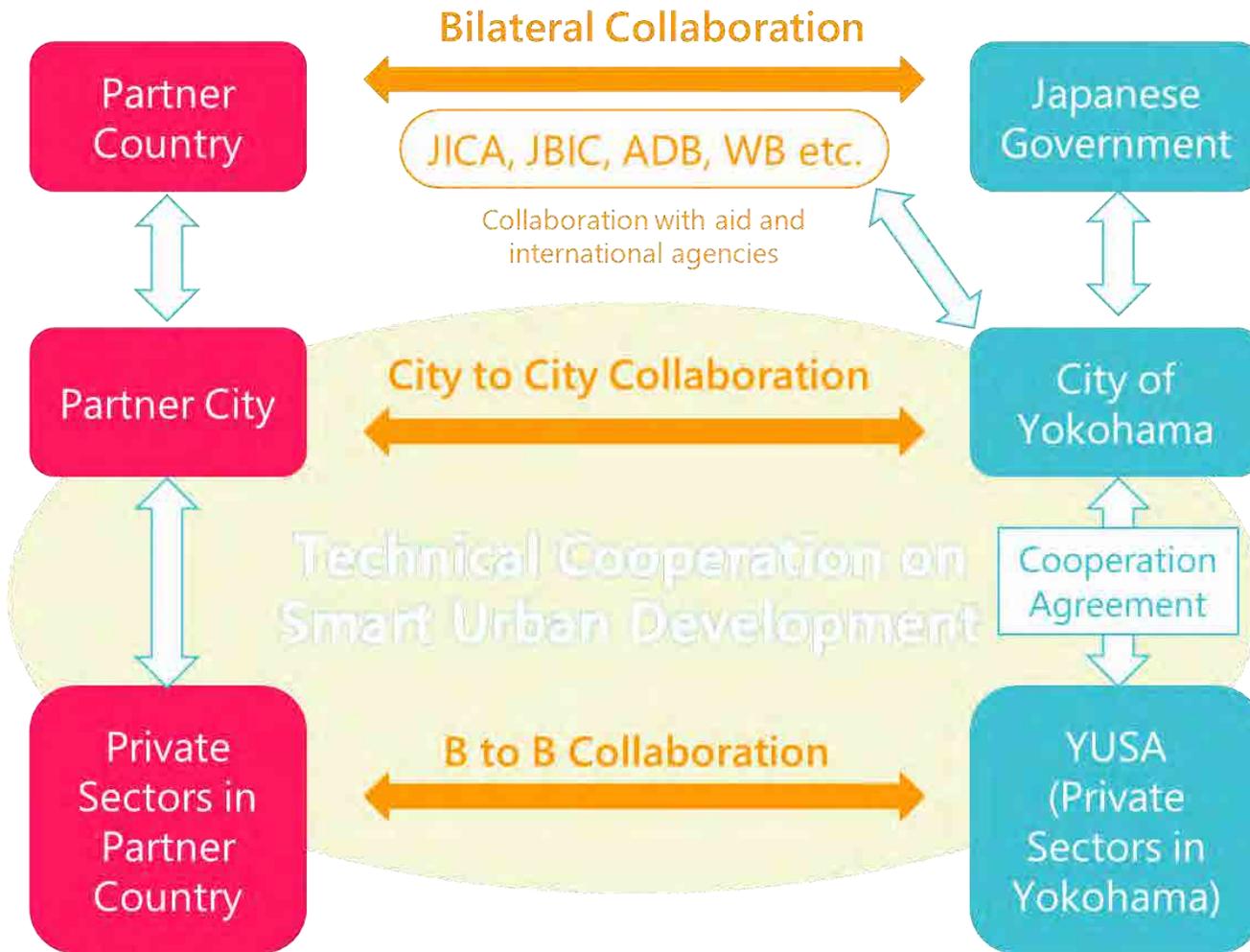
海外企業はフィリピン、タイ、インドネシア、マレーシア、インド（オブザーバー）から

■ オンライン個別商談会

2022年12月5日（月）～8日（木）

17件の商談会を実施（うち7件が交渉継続）

2023年の YUSA



ブランドカ

- 顧客（相手国側）にとってYOKOHAMAは安心のブランド
- G to Gのつながりをベースとしたビジネスマッチングや事業提案の展開

包括的かつ機動的サービス

- 民間企業によるソリューション提供に留まらず、行政によるインフラ・都市開発の視点からも提案
- 会員企業技術・サービスの海外への売込みと、都市開発など面的開発の両面からアプローチ

多様性とイノベーション

- 公民の連携、また異業種間の連携による相乗効果
- 参加企業同士の連携によるシナジーの後押し

海外でのビジネスチャンスをつかむため、
横浜市・YUSAとともに活動しませんか。

[Contact](#)



info@yusa.yokohama



YUSA連携事務所 の取組み -ベトナム・ダナン市の事例-

YUSA ダナン連携事務所
Osumi Vietnam Co.,Ltd.
米田 善治（代表）

本日のご紹介内容



01

YUSAダナン連携事務所の役割

02

ビジネスマッチングの内容

03

進捗、成果例の紹介

01

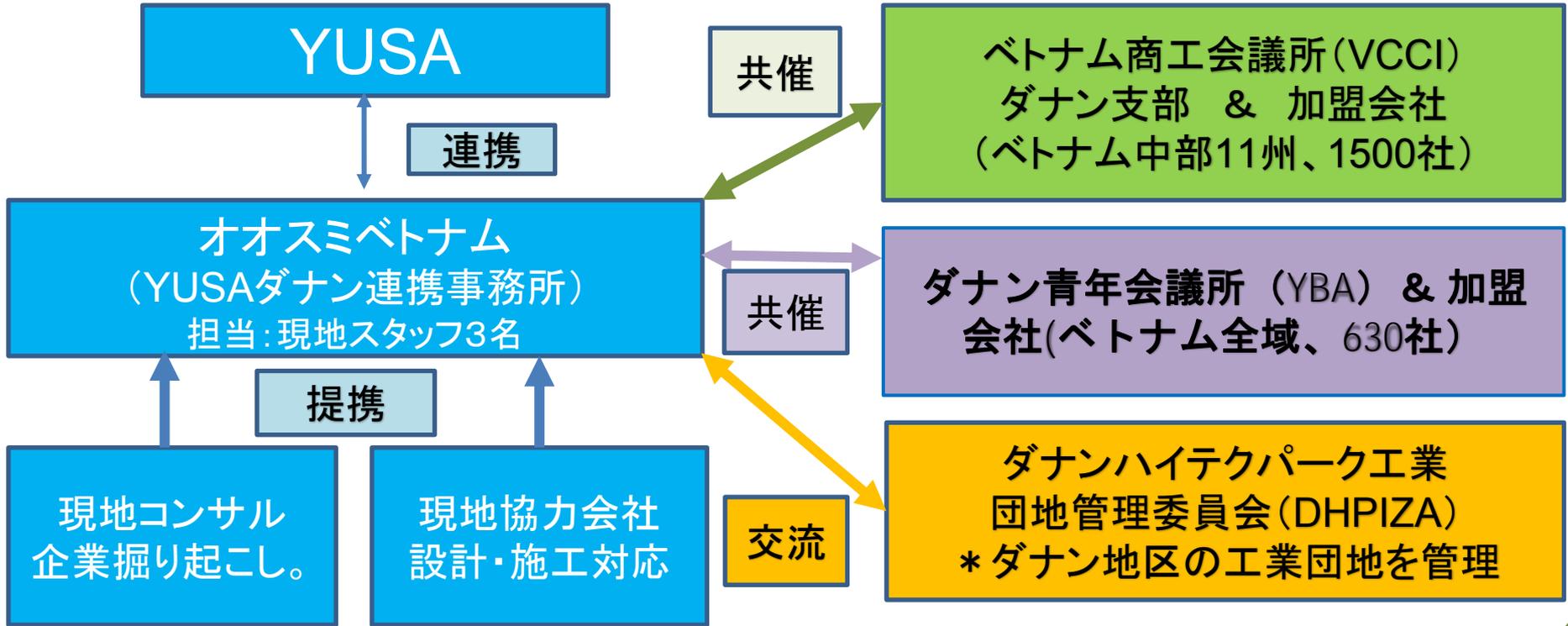
YUSAダナン連携事務所の役割

「今年度の主な取組み -ビジネスマッチング-」

- ・ VCCI 及び YBA 加盟企業とのマッチングイベントの定期開催
 - YUSA側企業ソリューションリストをUPDATEし共有。
YBA側企業のニーズをUPDATEし共有。
 - 分野毎（水、エネルギー、廃棄物、IoT関係等）でのマッチング方式。
- ・ マッチング成立に向けた個別フォロー
 - 関心のある企業との個別商談、販促支援、情報共有。
 - タイムリーなオンライン会議の設定、翻・通訳支援。

02

ビジネスマッチングの内容



VCCI ダナン支部との取組み。



2022年12月22日
VCCI MR. NGUYEN
TIEN QUANG,
DIRECTOR
との面談。

2023年度
VCCI - YUSAマッチン
グイベントを4月末～5
月上旬に開催予定。

VCCI ダナン支部の概要



● ダナン市の支援で
1989年に設立。

● ベトナム中部11州

● 1600社が加盟

● 準会員企業は5000社

起業トレーニング、起業コンサルティング

ビジネスにおける法規制の普及。
知的財産権保護のためのコンサル。



会員企業への行政方針の浸透、
新規ルールへの対応指導等を実施。

貿易と投資の促進：セミナー、プレゼンテーションの開催、市場と製品の紹介

環境・エネルギー対応（CO₂削減対応）について指導。
省エネ活動の推進、再生可能エネルギー設備の導入促進。

自動車のエネルギー タグに関する VCCI のコメント

会議日：2023年1月6日



グリーンの持続可能 な成長

会議日：2022年12月18日

Xe mô tô, xe gắn máy sẽ phải dán nhãn tiêu thụ năng lượng bắt buộc

Xe mô tô, xe gắn máy được sản xuất, lắp ráp
hoàn toàn mới hoặc nhập khẩu chưa qua sử dụng
sẽ phải dán nhãn năng lượng áp dụng bắt buộc.



Nhãn năng lượng

Nhãn dán trên các phương tiện, thiết bị
lưu thông trên thị trường, nhằm cung cấp
thông tin mức tiêu thụ năng lượng
của phương tiện, thiết bị đó



Nhãn xác nhận



Nhãn so sánh

Mức tiêu thụ nhiên liệu của xe mô tô, xe gắn máy



Do nhà sản xuất đăng ký,
công bố và có sự kiểm tra,
xác nhận của cơ quan
quản lý về thông tin
công bố.



Được ghi trên nhãn
năng lượng dán trên xe
để cung cấp cho
khách hàng những
thông tin cần thiết.

RENEWAL ENERGY: 持続可能 な開発のための政策 の完成。

会議日：2023年1月4日



YBA ダナン青年会議所との取組み



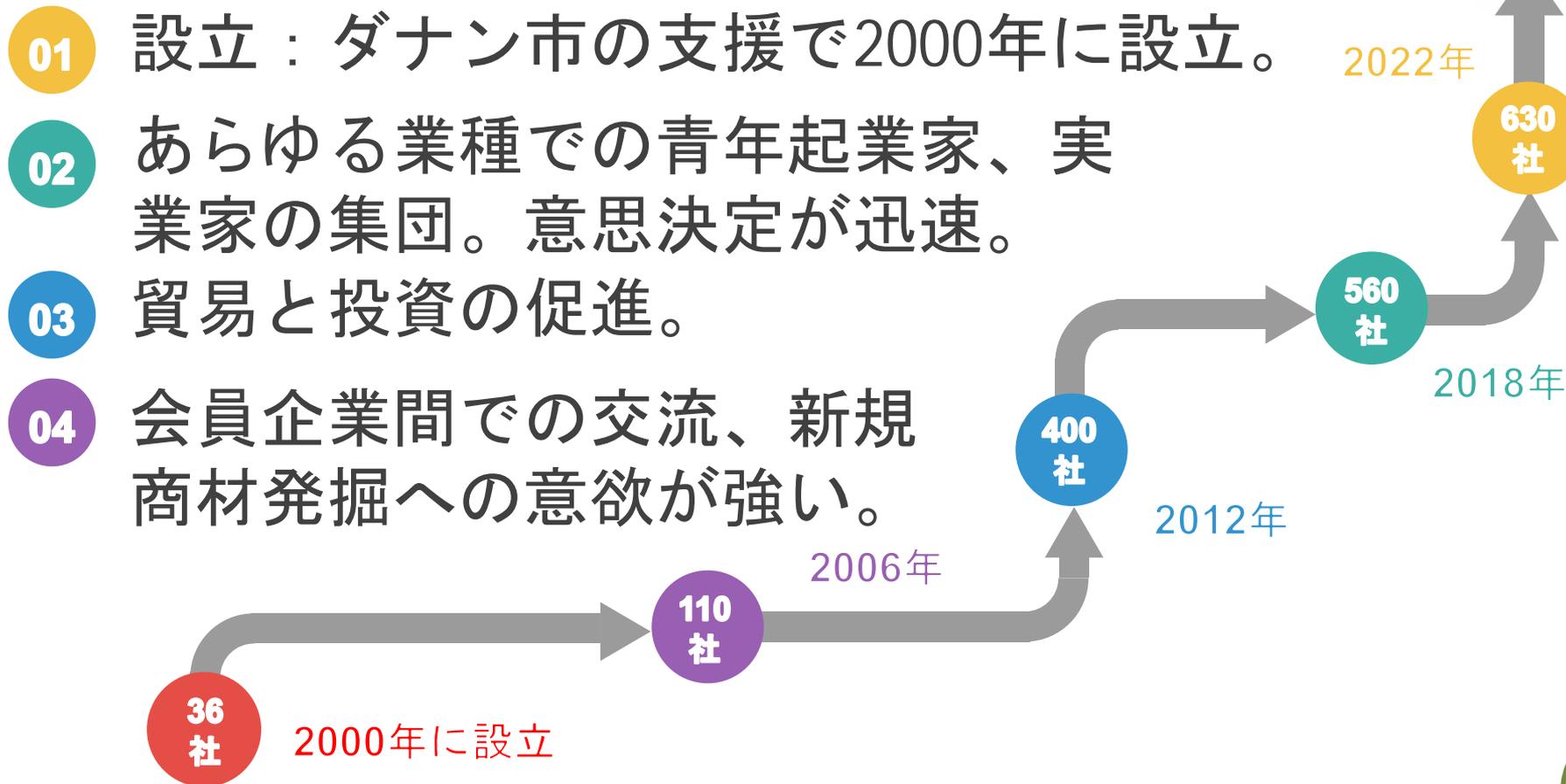
2022年12月14日
YBA-YUSA第一回
ビジネスマッチング開催。

YUSAソリューション
7社、YBA14社が参加。

第二回マッチングイベン
トを2023年2月24日に
予定。

- 成果：①T.K.K. エボリューション (YUSA) のスケール除去装置について、YBA企業の協力を得て、ダナン市内製造工場での実証稼働が決定（4-9月）。
②Osumi Vietnam(YUSA)とCUV(YBA)で作環対策工事を新規受注。

YBA ダナン青年会議所 の概要



DHPIZAとのワークショップ



2022年8月2日 DHPIZA社とのJCM設備補助に関するワークショップを開催。

- 成果：
- ・製造工場を中心に15社、38名が参加。
 - ・JCM設備補助制度について共有し、対象となる省エネ・再エネシステムを紹介。
 - ・屋根置き太陽光発電での引き合い。



2023年1月12日 横浜市とダナン市の都市間連携事業についての打ち合わせ。

- 成果：
- ・今後の脱炭素に向けた都市間連携調査事業の内容について意見交換。
 - ・今後の双方の共同での取り組みを確認。

03

進捗、成果例の紹介

- 1) T.K.K.エボリューション（YUSA会員）様のスケール除去装置について、YBA会員企業の支援を得てダナン市内製造工場での実証試験の開始を決定。（4～9月）
更に、当該社の赤錆対策システムをYBA会員企業のホテルでの展開を検討。
- 2) 日系製造工場での省エネ診断・対策施工をYUSA-YBA企業の連携で拡大中。更に同業務の効率向上のためYBA会員企業が保有するシステム（IoTモニタリングシステム等）の活用を検討。等々。

最後に；

- YBAとの交流が先行し深まっておりますが、YBAとは、マッチングイベントの機会を活用してのパートナー発掘、あるいは、個別での相談も可能です。

今後、ダナンで自社ソリューションの展開を検討される際には、ぜひ同マッチング機能をご活用いただければと思います。

～ ご静聴を有難うございました ～

第4回Y-PORTワークショップ

東京新建装株式会社

多機能コーティング剤
ブリジャーンプラス

ベトナムへの展開について

渉外担当執行役・新井 俊一

東京新建装の機能性塗装のご紹介： たゆまぬ**技術開発**と**施工品質**で未来につながる**新たな暮らし**を



ブリジャーplusとは

世界初の4要素配合による持続性・多機能コーティング剤

光触媒・銅・銀・フッ素樹脂

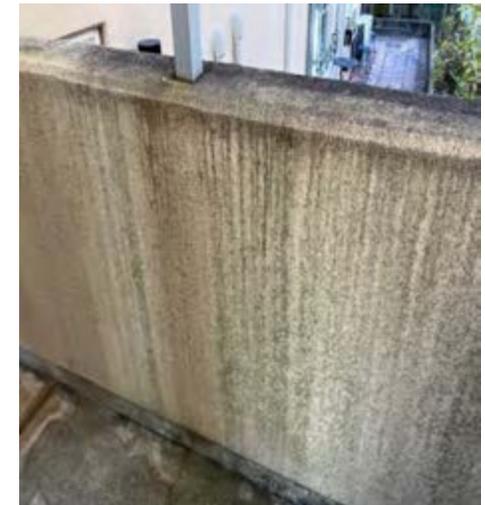
6つの業界初

- ★オミクロン変異株への有効性も認められた
抗インフルエンザ、抗コロナウイルス機能(業界初)
- ★外装だけでなく内装のセルフクリーニング効果抜群(業界初)
- ★安全性の保証された高い防カビ・防藻効果(業界初)
- ★施工後にそれが目視確認できるコーティング膜(業界初)
- ★水中でも適用可能な高い耐水性(業界初)
- ★光遮断後でも数週間持続する光触媒効果(業界初)

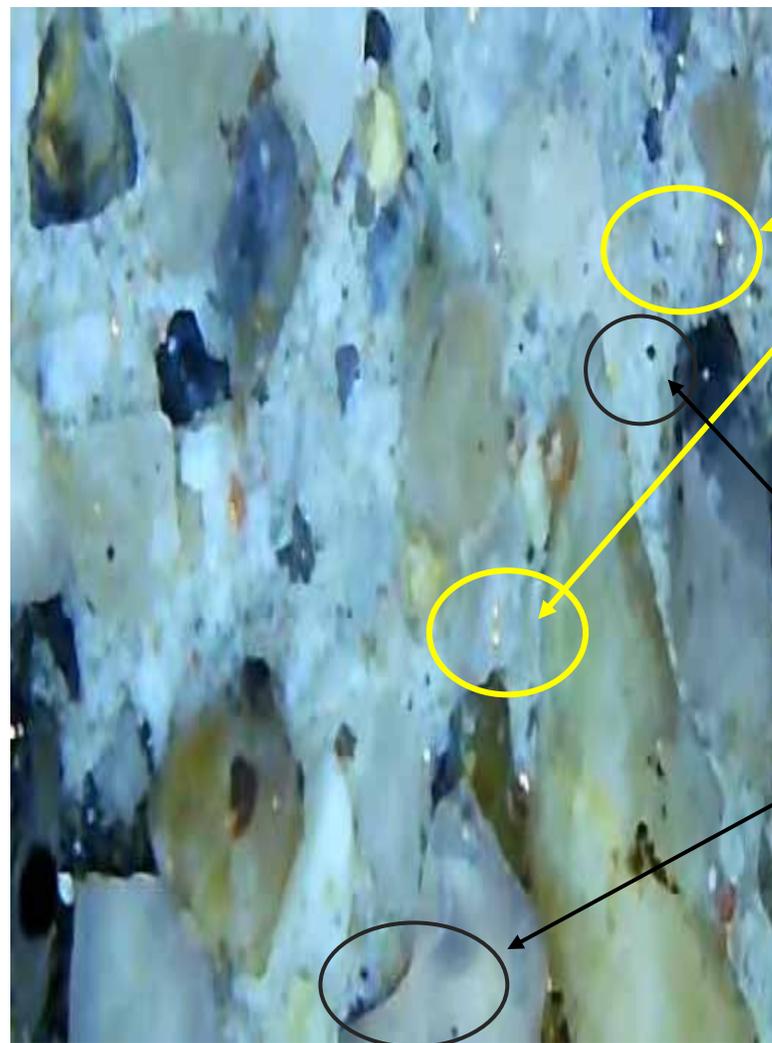
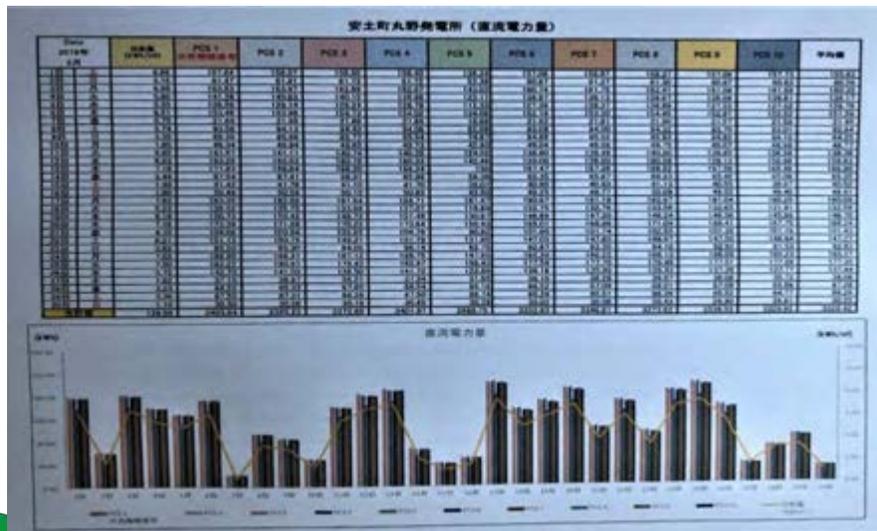
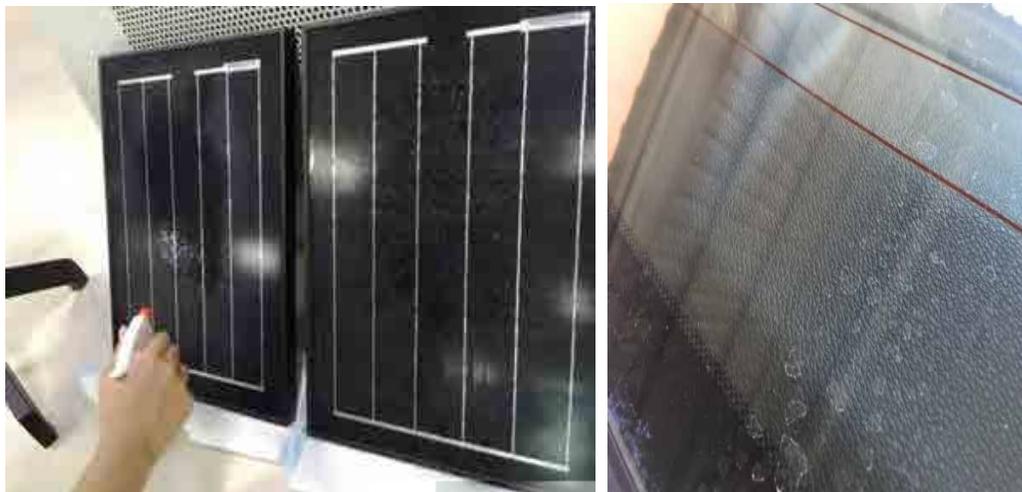
第三者機関による機能確認

目的	試験名	試験内容	結果	試験機関
安全性確認-1	食品衛生法・食品、添加物等の規格基準	材料試験：鉛、カドミウム、溶出試験：重金属（鉛として）過マンガン酸カリウム消費量	4要素に対して、全て適合	一般財団法人 化学研究評価機構 高分子試験評価センター No.0-20000962J001
安全性確認-2	ホルムアルデヒド放散値確認	JIS K 5601-4-1 5デシケータ法	ホルムアルデヒド放散量mg/L) 測定値結果 <0.03	一般財団法人 建材試験センター 第20A0450号
抗ウイルス機能確認-1	新型コロナウイルス不活性化試験	ブリジャール・プラスを噴霧した布上にコロナウイルス液を滴下し、状態を確認	10分で不活性効果を確認 (外部から持ち込まれたウイルスの不活性化する機能)	奈良県立医科大学
抗ウイルス機能確認-2	インフルエンザウイルス不活性化試験	検体にインフルエンザウイルスのウイルス液を滴下、白色蛍光灯照射下、4時間保存	Log TCID50/mL : <0.5検出せず (外部から持ち込まれたウイルスの不活性化する機能)	一般財団法人 日本食品分析センター 第22020297001-0101号
抗かび性機能	抗かび性試験	白癬菌液を検体に滴下、1時間光照射後、消灯23時間保存	平均値27,000個の生存孢子数が<10個に減少；室内外のカビ防止	同上 第18127262003-0101号
アセトアルデヒド除去試験	空気浄化性能試験	JIS R 1701-2:2016 ファインセラミックス光触媒材料の空気浄化性能試験方法 - 第2部 アセトアルデヒド除去性能	1時間当たりの1.アセトアルデヒド除去量と2.二酸化炭素転換量 1. 除去量：9.21 μmol/h 2. 転換量：18.88 μmol/h	地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 産技総研第093-80915号
セルフ・クリーニング機能	塗装面の美観維持機能の確認試験	JIS R 1703-2 2014 光触媒塗布アルミ板での試験	分解活性指数 R : 7.2 n mol/L/min Rirr : 20.8 n mol/L/min Rdark : 13.6 n mol/L/min	同上 産技総研第093-80996号

実績のご紹介- 1



実績のご紹介- 2



銅成分

銀成分

ベトナムへの展開；YUSAダナン連系事務所のご支援- 1

現地マーケットのご紹介－実証先、現地施工・作業者の調整



YUSAメンバーとの協業案件③

東京新建装様の抗菌剤、アンチスリップ材施工実証試験：



光触媒による
抗菌剤施工
(対コロナ菌)

スリップ防止剤
施工

ウイルス検査
を継続

ダナン市内数
ヶ所で施工

ダナン ASAKA幼稚園での施工

ダナン 未来ハウス資材展示ブースに施工

©(株)オオスミ様

ベトナムへの展開；YUSAダナン連系事務所のご支援- 2

ト		
1. 製品名及び会社情報		
製品名:	ブリジャールプラス (屋外用)	
会社名:	東京新建築株式会社	
住所:	横浜市青葉区新石川	
担当部門:	技術部	
電話番号:	045-482-7425	FAX 番号 045-482-7426
作成/改訂年月日:	令和3年1月7日	
整理番号:	TS-S-003	
2. 危険有害性の要約		
GHS 分類		
物理化学的危険性:	引火性液体 自然発火性液体 自己発熱性化学品 酸性液体	区分2 区分外 分類できない 分類できない
健康に対する有害性:	急性毒性 (経口) 急性毒性 (経皮) 皮膚腐食性・刺激性 皮膚感受性 眼に対する損傷・眼刺激性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性 (単回曝露) 特定標的臓器・全身毒性 (反復曝露)	区分外 区分外 区分外 区分外 区分2B 区分外 区分外 区分1A 区分3 (気道刺激性、麻酔作用) 区分1 (肝臓) 区分2 (神経) 分類できない
他の健康に対する有害性:	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性:	環境外※ ※ 混合物の既知成分について分類。フッ素系イオン交換樹脂については、水環境有害性が不明である。	分類できない
ラベル要素	シンボル: 	
注意喚起語:	危険	
危険有害情報:	飲み込むと有害のおそれ 軽度の皮膚刺激 眼への刺激 生殖能力又は胎児への悪影響のおそれ 呼吸器刺激を起こすおそれ 昏睡及びめまいを起こすおそれ 長期又は反復曝露による肝臓の障害 長期又は反復曝露による血管、臓器、神経の障害のおそれ	

サンプル製品のベトナムへの
持ち込みの事前確認
-現地法令確認他

3. 組成・成分情報				
単一製品・混合物の区別: 混合物				
化学名又は一般名	含有率 (%)	化学式又は構造式	化審法・安衛法	CAS No.
イオン交換樹脂	1>	(C7HF13O5S-C2F4) x	非該当	31175-20-9
酸化チタン	5>	TiO2	(1)-558	13463-67-7
銅粉	1>	Cu	非該当	7440-50-8
銀粉	1>	Ag	非該当	7440-22-4
エタノール	70~80	C2H5OH	(2)-202	64-17-5
水	10~20	H2O	非該当	7732-18-5

今後の展開と期待について

ソーラパネルの汚れ防止機能を
活かし発電量向上が期待出来る
ブリジャールプラスの**実証と**
その後の展開へのご支援を！！



- ・ ASEAN 5 の中でも高い成長が
予想されているベトナム市場
- ・ 始まったソーラ発電
マーケットの市場形成



ODAを活用した途上国への 海外展開支援事業

JICA横浜

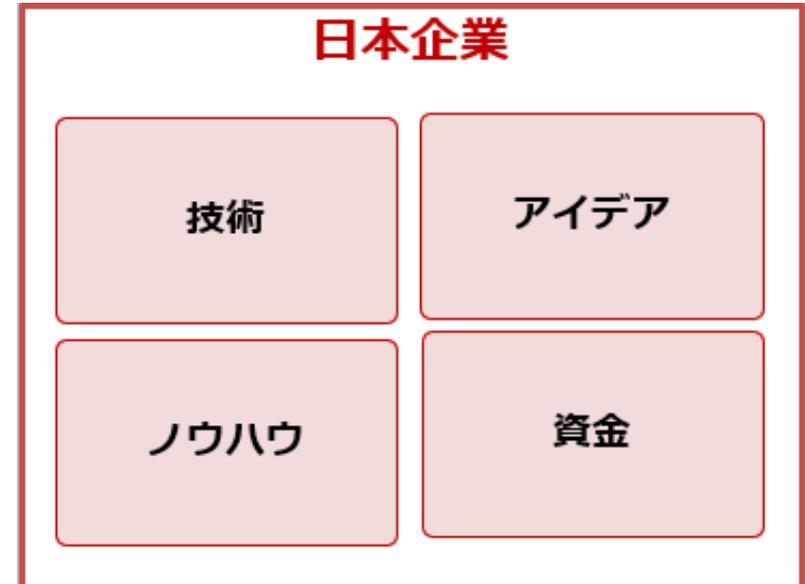
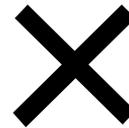
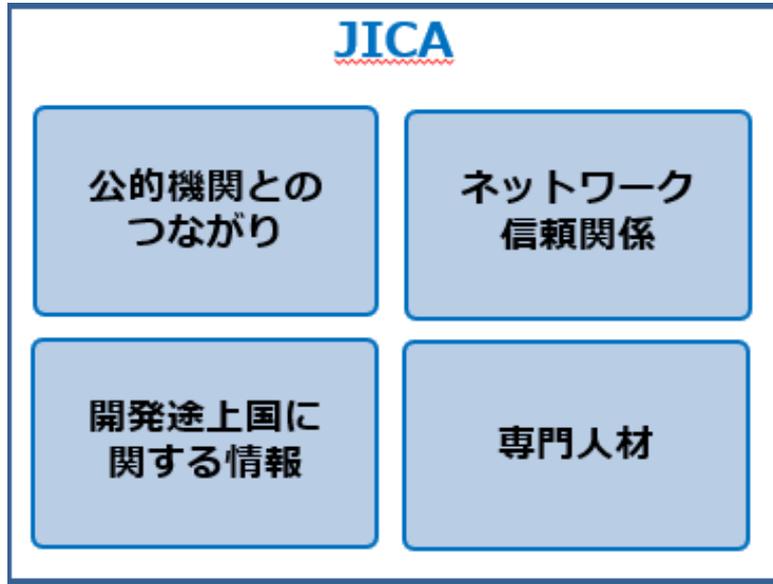
JICAの民間連携事業

企業共創プラットフォーム

民間企業の皆様とJICAが
共創して途上国の社会解決に
取り組む場となることを目指しています。



なぜJICAは民間企業と連携したいと考えたのでしょうか？



途上国の課題解決

では、JICAと協業することによる
メリットとは？

1



JICAの信頼と
ネットワークの活用

人

50年以上の協力経験で
培われた途上国との
「人的ネットワーク」と
「信頼関係」

2



質の高い
ビジネスアドバイザー

情報

途上国事情に精通した
「職員」と国内外の
「外部専門家」
それらが持つ生きた
現地情報

3



企業認知度の向上

拠点

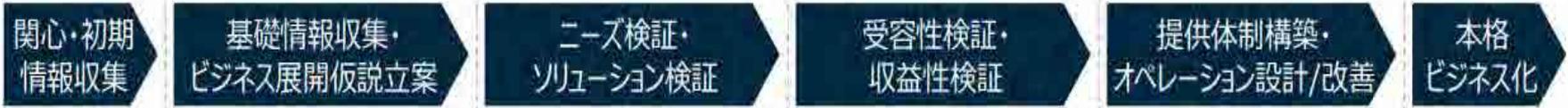
海外に約**100**カ所
(主に開発途上国)

国内に**15**カ所

活用いただけます

具体的な支援制度

3種類の調査メニュー



新制度 **ニーズ確認調査**

- 基礎情報を収集し、開発途上国のニーズと自社製品/サービスとの適合性の検証を実施
- 初期的な事業計画を策定
- 期間：8か月程度

上限1,000万円+コンサルティングサービス
(4人月程度)

中小・中堅企業・スタートアップ

普及・実証・ビジネス化事業

- 技術・製品やビジネスモデルの検証・普及活動を通じ、事業計画を策定
- 期間：1～3年程度

上限1億円/1.5億円/2億円
(コンサルタント関連経費込)

中小・中堅企業・スタートアップ

上限5,000万円
(コンサルタント関連経費込)

大企業

新制度 **ビジネス化実証事業**

- 製品/サービスに対する顧客の受容性を確認した上で、現地パートナーを確保してビジネスモデルを策定し、収益性の検証と製品/サービス提供体制・オペレーションの構築を実施
- より精緻化された事業計画を策定
- 期間：1年4か月程度

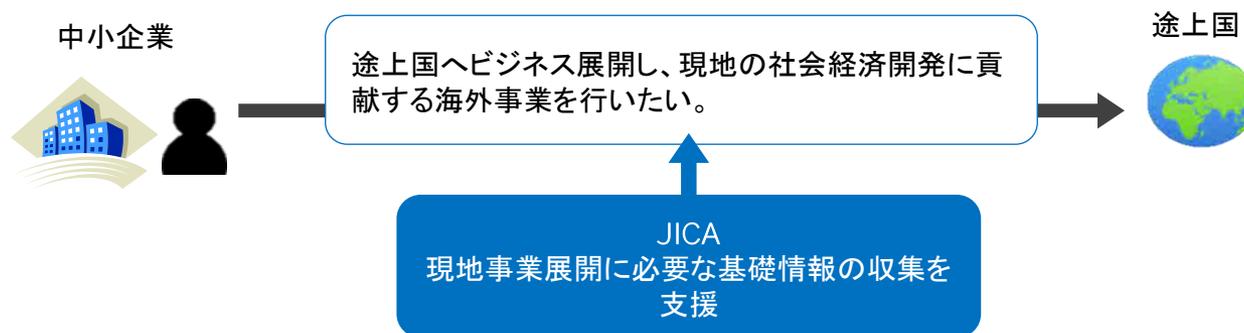
上限2,000万円+コンサルティングサービス
(8人月程度)

中小・中堅企業・スタートアップ

大企業

現地で基礎的な情報を収集したい

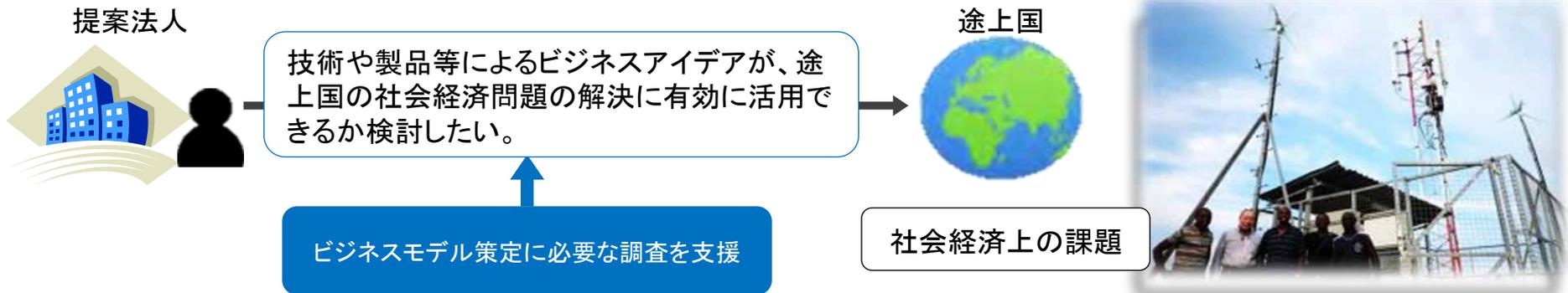
開発途上国の課題解決への意思を持つ企業からご提案を広く募集し、顧客ニーズ、及び顧客ニーズと製品/サービスとの適合性に関する初期仮説の検証、初期的な事業計画の策定を支援します。



対象者	中小企業、中堅企業（スタートアップ企業含む）
経費	1件あたり上限1000万円
負担経費	旅費、現地活動費 コンサルティングサービス(4人月程度)
期間	8か月程度
対象分野	全分野
対象国	・原則としてJICA在外事務所などの所在国(対象国は複数国も可)

ビジネスモデルを策定したい

開発途上国の課題解決の高い可能性と意思を有する企業からご提案を募集し、提案製品/サービスの受容性 検証と事業計画の精度向上を支援します。

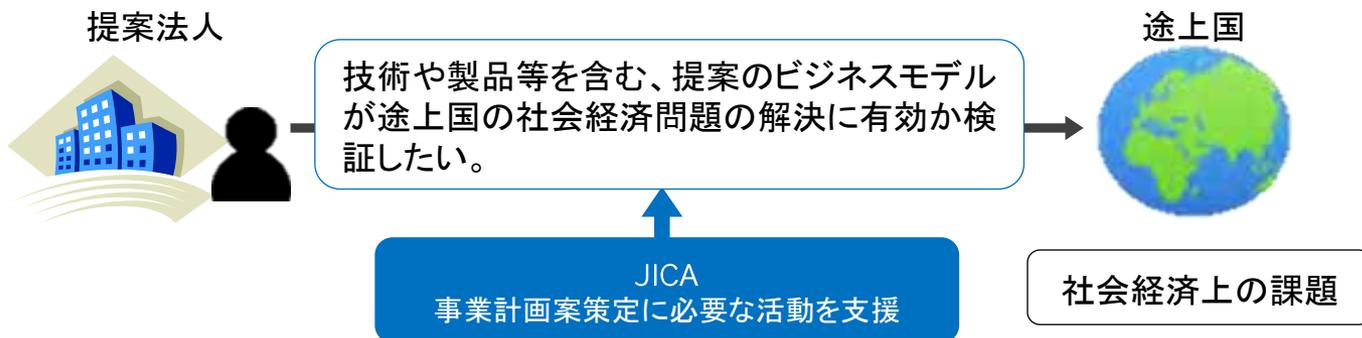


対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・対象国が決まっており、価格帯も含めて製品/サービスに対する顧客ニーズを確認済みの企業 ・中小企業(スタートアップ企業含む)、中堅企業、大企業等
経費	1件あたり上限2000万円
負担経費	旅費、現地活動費、機材輸送費、本邦受入活動費 コンサルティングサービス(8人月程度)
期間	1年4か月程度
対象分野	全分野
対象国	全分野・原則としてJICA在外事務所などの所在国(対象国は原則1か国)

普及・実証・ビジネス化事業（2年程度は存続予定）

ビジネス活動計画を実証・策定したい

途上国の課題解決に貢献し得るビジネスの事業化に向けて、技術・製品・ノウハウ等の実証活動を含むビジネスモデルの検証、提案製品等への理解の促進、ODA事業での活用可能性の検討等を通じた事業計画案の策定を支援します。



	中小企業支援型	SDGsビジネス支援型
対象者	中小企業、中堅企業、中小企業団体の一部組合	「中小企業支援型」の対象に該当しない本邦登記法人
経費上限	1件あたり1億円 (大規模／高度な製品等を実証する場合は1.5億円、 インフラ整備技術推進案件及び地域産業集積海外 展開推進案件は2億円)	1件あたり5,000万円
負担経費	旅費・機材購入、輸送費・現地活動費、人件費(外部人材活用費のみ)、本邦受入活動費・管理費	
期間	1～3年程度	
対象分野	全分野	
対象国	原則としてJICA在外事務所等の所在国	

旧制度と新制度の違いは？

旧制度

提案企業

JICA

① 企画の提案

② 企画の採択

③ 契約内容について交渉

④ 業務の委託

⑤ 事業実施・成果品提出

⑥ 成果品への支払



新制度

提案企業

JICA

① 企画の提案

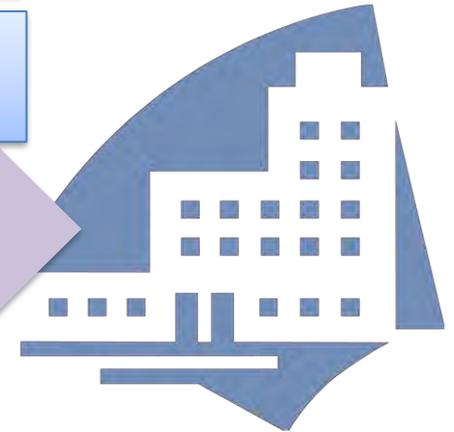
② 企画の採択

③ JICA契約コンサルタントによるコンサルティング（全期間を通じ）

④ 事業内容の検討・すり合わせ

事業の実施

⑤ 成果品提出



- (1) 提案企業に伴走するコンサルタントをJICAが準備。
- (2) JICAがコンサルタントに対し調査にかかる経費を支払う形となるため、提案企業は経費積算や精算といった煩雑な手続きから一部解放。
- (3) 契約、事業開始までの期間短縮に期待。
- (4) このことから、より調査に集中可能。

応募したい企業・参画企業に対してJICA
(横浜) はどんなサポートを？

- (1) 応募前のコンサルティング
(公示前日まで)

- (2) 調査実施段階のよろず相談



横浜企業経営支援財団（IDEC横浜） 海外ビジネス展開事業のご紹介

令和5年2月21日

CONTENTS

- 横浜企業経営支援財団（IDEC横浜）とは
- 海外ビジネス展開事業のご紹介

横浜企業経営支援財団（IDEC横浜）とは

- 中小企業支援法に基づく、横浜市長から指定を受けた市内唯一の「**中小企業支援センター**」
- 横浜市経済局の外郭団体である**公益財団法人**として、市内中小企業を総合的かつ継続的に支援

横浜企業経営支援財団（IDEC横浜）とは

経営相談

起業・経営の問題解決をサポートします。

- ワンストップ経営相談
- 事業承継相談
- 専門家派遣
- 小規模事業者出張相談
- 技術相談



横浜企業経営支援財団（IDEC横浜）とは

マッチング

市内中小企業と大手企業、大学・研究機関とマッチングを推進します。



技術連携支援

技術移転支援

専門人材等の紹介

公的支援施策の紹介

各種セミナーの開催、展示会の出展

横浜企業経営支援財団（IDEC横浜）とは

イノベーション

新ビジネスの創出や社会課題の解決、生産性向上、チャレンジ支援をします。

- 中小企業デジタル化支援
- 医工連携支援
- デジタルヘルスケアサポート拠点



横浜企業経営支援財団（IDEC横浜）とは

海外ビジネス

海外ビジネス展開を支援します。

- 国際ビジネス支援
- 情報提供
- 海外展開支援助成
- 外資系企業定着支援
- 上海事務所



横浜企業経営支援財団（IDEC横浜）とは



インキュベーション 創業・研究開発支援施設

- 横浜市産学共同研究センター
- 横浜新技術創造館リーディングベンチャープラザ
- 横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア

貸出施設

オフィス、ホール等施設

- 横浜情報文化センター【本部】
- 横浜市金沢産業振興センター

支援事例

IDEC横浜のWEBサイトでご覧頂けます。

 創業	 女性起業家	 販路開拓	 経営改善
 IT・IoT・技術	 海外展開	 マッチング	 補助金・助成金活用



アジア・ベトナム市場
のニーズをつかめ!横
浜発の美容液が満を持
して海外へ

エクラブランド株式会社
【製造業】



支援メニューを活用
し、専門家とともに一
つずつ課題を解決

NPO法人茨(さや)・さや
【サービス業(他に分類され
ないもの)】



ものづくりコーディネ
ーターのマッチング支
援で製造委託先の国内
回帰を実現

プラムネット株式会社【製
造業】



事業者の思いを収益計
画の数値化で支援 補
助金の採択により、夢
に向けて歩みだす

GEKKO【生活関連サービ
ス業, 娯楽業】



ここからは、

海外ビジネス展開事業

についてご紹介します。

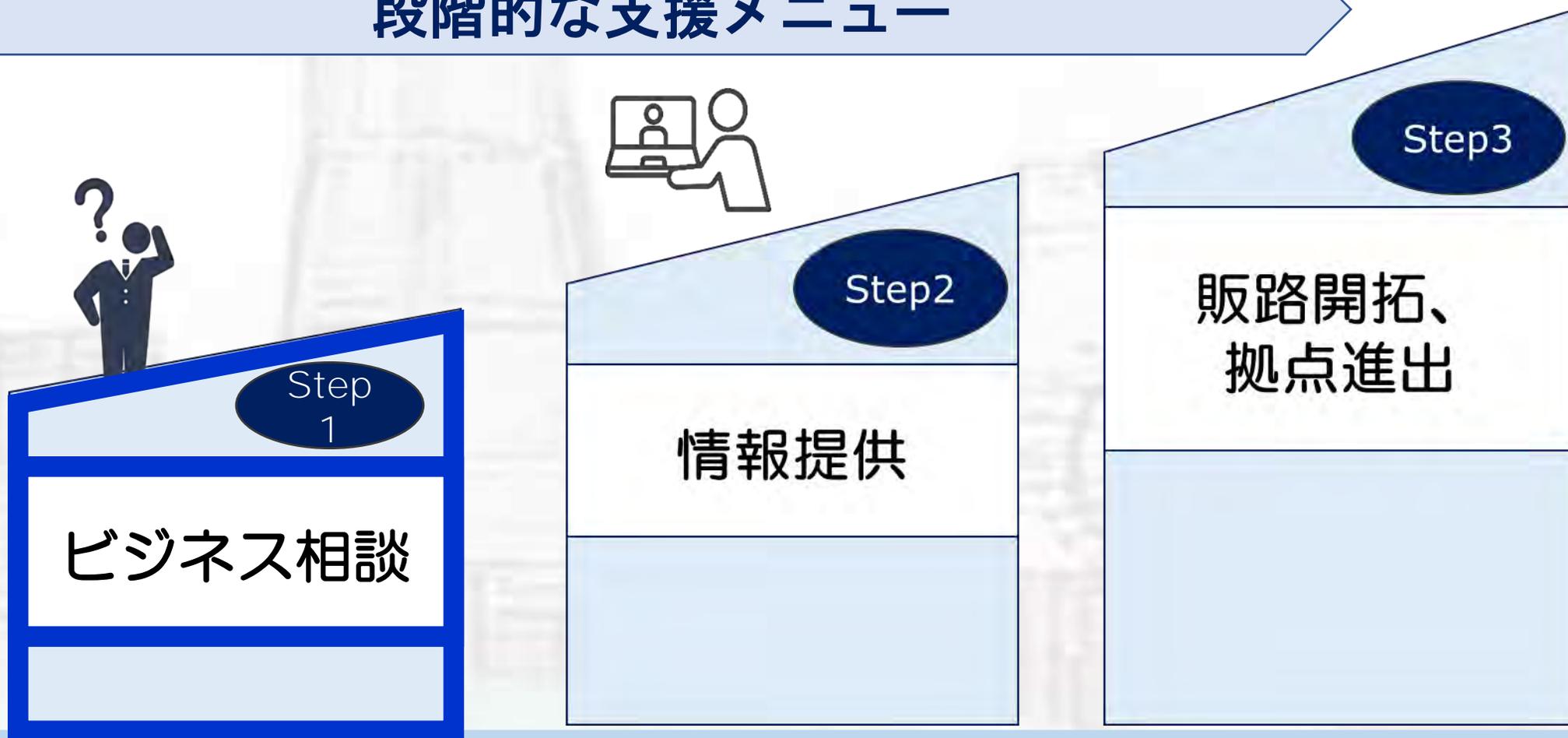
海外ビジネス展開事業のご紹介

段階的な支援メニュー



海外ビジネス展開事業のご紹介

段階的な支援メニュー



海外ビジネス展開事業のご紹介

Step
1

■ワンストップ経営相談窓口（無料）【オンライン可】

経営相談全般	月～金
IT活用相談	火
税務相談	第1、3の水
労務相談	第2、4の水

国際ビジネス相談	水
事業承継相談	木
知財相談	第2の木
法律相談（弁護士対応）	火 午後のみ （30分）

海外ビジネス展開事業のご紹介

Step
1

■ワンストップ経営相談窓口（無料）【オンライン可】

どんな相談ができますか？

- 海外企業から引き合いが来たが、海外取引経験がないので、どうしたらよいかわからない。
- 自社の取扱製品を海外に販売したい。
- 海外の展示会に出展したいが、どのように準備したら良いか知りたい。
- 海外の代理店探しをしたい。
- 海外企業への見積書は日本円を出してよい？

海外ビジネス展開事業のご紹介

Step
1

■ワンストップ経営相談窓口（**無料**）【**オンライン可**】

まずは**メール**か**電話**でお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

✉ global@idec.or.jp

☎ (045)225-3730

海外ビジネス展開事業のご紹介



海外ビジネス展開事業のご紹介

Step
2

■海外ビジネスセミナー

【令和4年度実績】

(1) 台湾セミナー（5回シリーズ）

オンライン

(2) 海外進出セミナー

リアル（財団会議室）

(3) タイBOIセミナー

リアル（財団会議室）

ほか



海外ビジネス展開事業のご紹介

Step 2

■海外サポートデスク

海外に事務所を置くコンサルティング会社等と提携し、
現地情報の提供などをサポート。

<支援対象地域>

中国、ベトナム、タイ、台湾、インド、アメリカ等

事例 1

日本の菓子を**台湾**へ輸出したい。
市場開拓の可能性を知りたい。

業界動向や同業他社の進出状況などを調査・レポート。

事例 2

ベトナムでヘルスケア商品展示会出展する。商談を支援してほしい。

現地企業との商談のための
アポイント調整。

海外ビジネス展開事業のご紹介

■上海事務所

Step
2

●横浜産業倶楽部

●中国企業とのマッチング

●クラスターガイド



海外ビジネス展開事業のご紹介



海外ビジネス展開事業のご紹介

Step3

■ 海外市場開拓支援事業

1社につき1人のアドバイザーを選任し、
販売戦略の策定、商談の進め方などアドバイス

伴走型
支援

事例 1

海外ビジネス経験のない建材企業が東南アジアへ輸出を希望。専門家が市場開拓のアドバイス。1年かけて台湾企業から初受注に至った。

事例 2

二輪車部品企業がコロナ禍で販売網の再構築に迫られた。タイ、ベトナム、インドネシア、インドなどへの販路開拓のため専門家がアドバイス。タイ、ベトナムから新規受注に至った。

海外ビジネス展開事業のご紹介

Step3

■海外展開助成（展示会等）

最大**20万円**（出展料等）

【助成率1/2】



オンライン展示商談会も対象
（動画制作、HPの多言語化など）



出展例

IDEC

20

企業

40

ジェットロ
日本ブース出展

海外ビジネス展開事業のご紹介

■海外展示会出展

(中国国際輸入博覧会ほか)

Step3



中国国際輸入博覧会2022 横浜パビリオン



COMPAMED2022 横浜パビリオン (ドイツ)

海外ビジネス展開事業のご紹介

Step3

■海外企業ビジネスマッチング

海外企業との商談機会を創出するため、IDEC横浜専門家がビジネスマッチングを支援します。

海外展示会出展（中国国際輸入博覧会、COMPAMED）等の機会を捉え、メール連絡等のサポートをします。

外資系企業定着支援

■外資系企業×市内中小企業 ネットワーキング

横浜に進出した外資企業と市内中小企業の
出会いの場をつくります。

令和5年3月3日（金）14:30～



横浜市内外資系企業ネットワーキング会 **AGC**
AGC横浜テクニカルセンターをたずねて
2023年3月3日 **金** 14:30-16:30

横浜市及び横浜企業経営支援財団（IDEC 横浜）は、横浜に立地した外資系企業の市内定着を支援するとともに、他の横浜企業等との連携、協業を促進する事業を行っています。これにより、海外市場の成長を横浜に取り込み、イノベーション創出や、横浜企業の新たなビジネス展開につなげます。本ネットワーキング会では、世界最大級のガラスメーカーであるAGC株式会社のAGC横浜テクニカルセンターで、同社より他社との協創事例のご紹介等頂く他、参加企業同士の交流を通じ、ネットワーキングの機会を創ります。企業間の連携や協業に関心のある市内の外資系企業等の皆さまは、ぜひご参加ください。

AGC株式会社は、建築材料、自動車向けなどのガラスを中心に、電子部材やその他の化学製造材料を製造・販売しており、AGC横浜テクニカルセンター（旧京浜工場）は、最先端技術に対応したガラスの研究開発および住宅・ビル用各種ガラス、車載ディスプレイ用カバーガラスの生産を行っており、研究開発・生産の主力拠点としての機能を果たしています。

フ ●開会挨拶・IDEC横浜 事業紹介
ロ ●イノベーション創出に向けた協創空間及び活動紹介 (30分)
グ ●AGC(株) AGC横浜テクニカルセンター視察 (60分)
素材や製品を見ながら、技術や機能を体験していただきます。
ラ ●名刺交換会 (30分)
ム

参加費 無料
会場 AGC(株) AGC横浜テクニカルセンター内
〒230-0045 横浜市鶴見区東広町1-1
[R鶴見線井天橋駅 徒歩約5分]
定員 30名
横浜市内外資系企業（※）および
市内外資系企業との連携/協業に関心のある市内中小企業
※外資系企業：外国の親会社の出資を受けている企業
応募多数の場合は、市内外資系企業を優先とし、定員になり次第受付を終了させていただきます。

主催：横浜企業経営支援財団（IDEC横浜） 共催：横浜市経済局、ジェトロ横浜
会場の変更に伴って新型コロナウイルス感染症防止対策を行います。

お申込方法 **WEBから** **IDEC 横浜** **検索** <https://www.idec.or.jp/>
※イベント情報をご覧ください。

お問合せ先 公益財団法人 横浜企業経営支援財団（IDEC横浜） 国際ビジネス支援担当
電話：045-225-3730 E-mail: global@idec.or.jp **IDEC** YOKOHAMA

まずは**窓口相談**をご利用ください。

何度でも**無料**で利用できます。

オンライン（Zoom）での相談もできます。

【お問い合わせ先】

✉ global@idec.or.jp

☎ (045)225-3730



メールマガジン登録

<https://www.idec.or.jp/mmagazine.html>

- 横浜発グローバルビジネスニュース
- 横浜企業経営サポートマガジン
- よこはま ものづくり・技術開発支援メールマガジン



- ホーム
- ショート
- 登録チャンネル
- ライブラリ
- 履歴
- 自分の動画
- 後で見る
- 高く評価した動画

- 登録チャンネル
- 音楽
 - スポーツ
 - ゲーム
 - 映画と番組

検索



IDEC Yokohama TV 横浜企業経営支援財団 公式チャンネル

@idecyokohamatv8105
チャンネル登録者数 217人

チャンネル登録

- ホーム
- 動画
- ライブ
- 再生リスト
- コミュニティ
- チャンネル
- 概要

海外ビジネスを考える中小企業のため台...
横浜の中小企業のための台湾セミナー

台湾製品に学ぶ

第2回 2022/09/13 技術やアイデアを「金」に変える方法

0:00 / 44:38 先頭

海外ビジネスを考える中小企業のため台湾セミナー第二回一...
170 回視聴・3か月前

海外ビジネスを考える、横浜の中小企業のための台湾セミナー
第2回 台湾製品に学ぶ、技術やアイデアを「金」に変える方法
「講義録（要旨）」は公開しております。🌟
<https://www.idec.or.jp/topics/article...>



facebook



公益財団法人横浜企業経営支援財団

484 件の「いいね！」・フォロワー544人

投稿 基本データ 写真 動画

自己紹介

固定された投稿



Facebookで公益財団法人横浜企業経営支援財団さんにつながりましょう



ご静聴ありがとうございます。